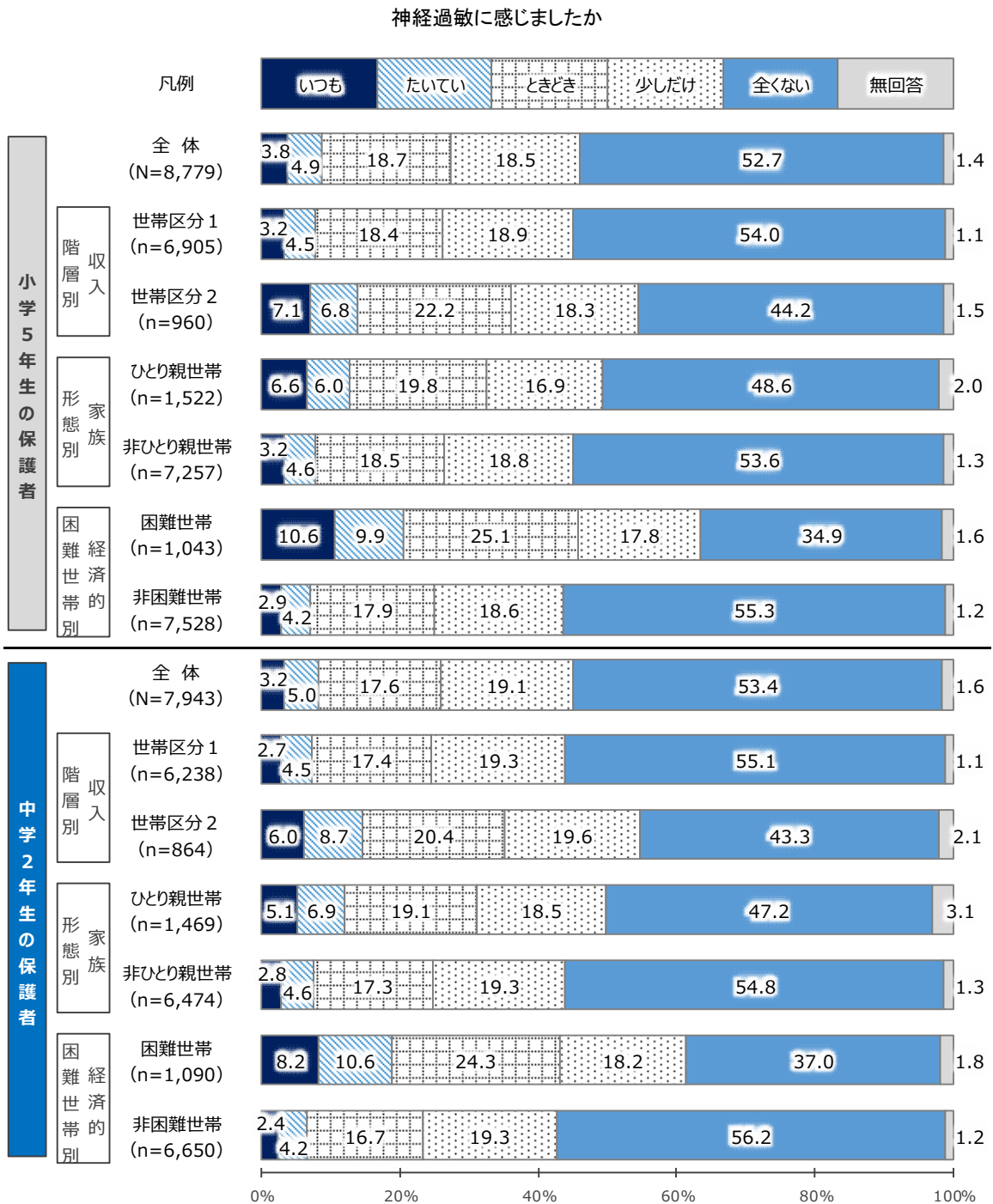


問 34 次の質問について、あなたは1か月の間に次のことがありましたか。(①～⑥のそれぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

①神経過敏に感じましたか

1か月の間、神経過敏に感じましたかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「全くない」が半数以上を占め最も高いが、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた『ある』の割合は4割強となっている。

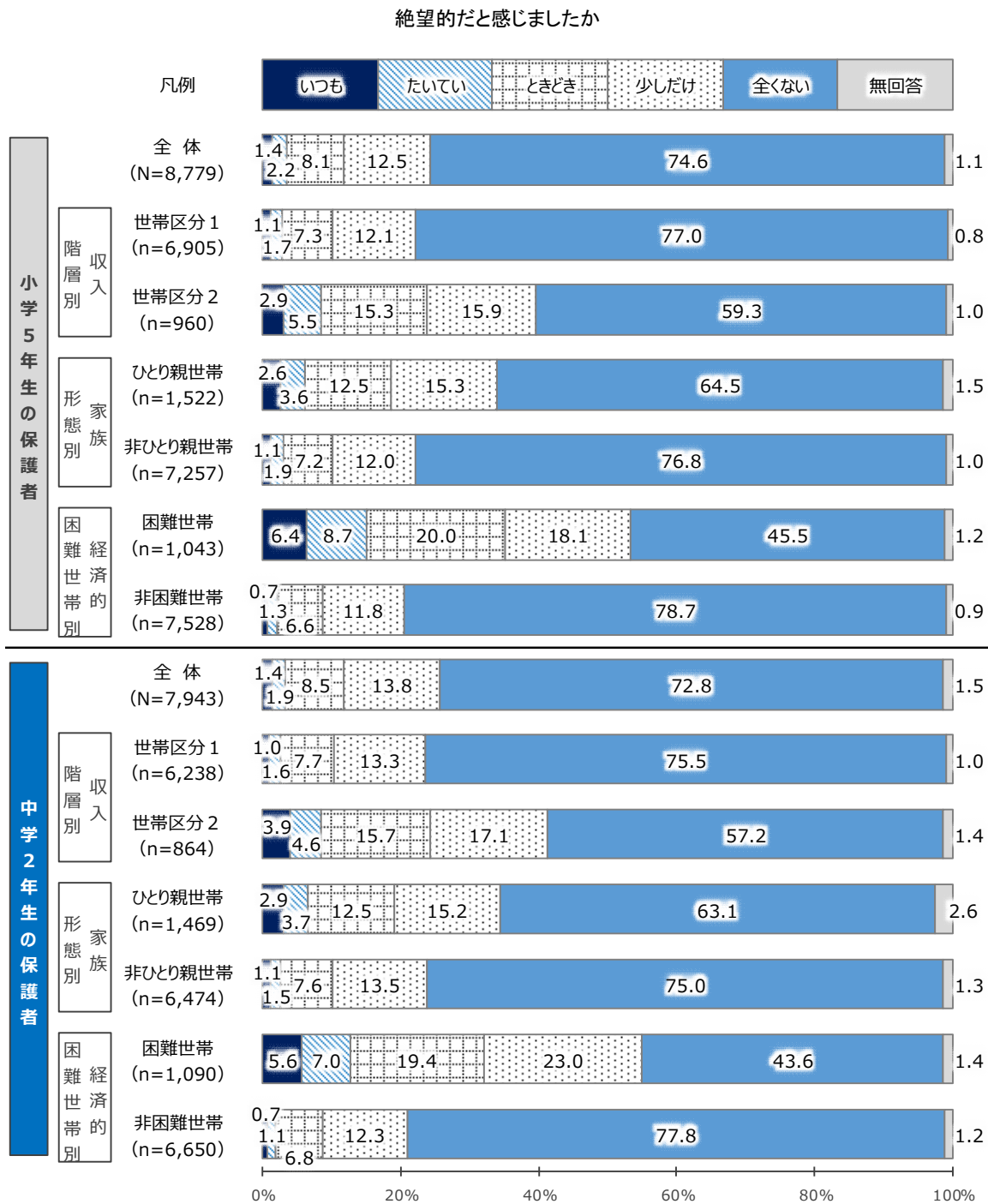
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は『ある』の割合が6割以上、世帯区分2は『ある』の割合が5割以上と高くなっている。



②絶望的だと感じましたか

1か月の間、絶望的だと感じましたかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「全くない」が7割以上を占め最も高いが、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた『ある』の割合は2割以上となっている。

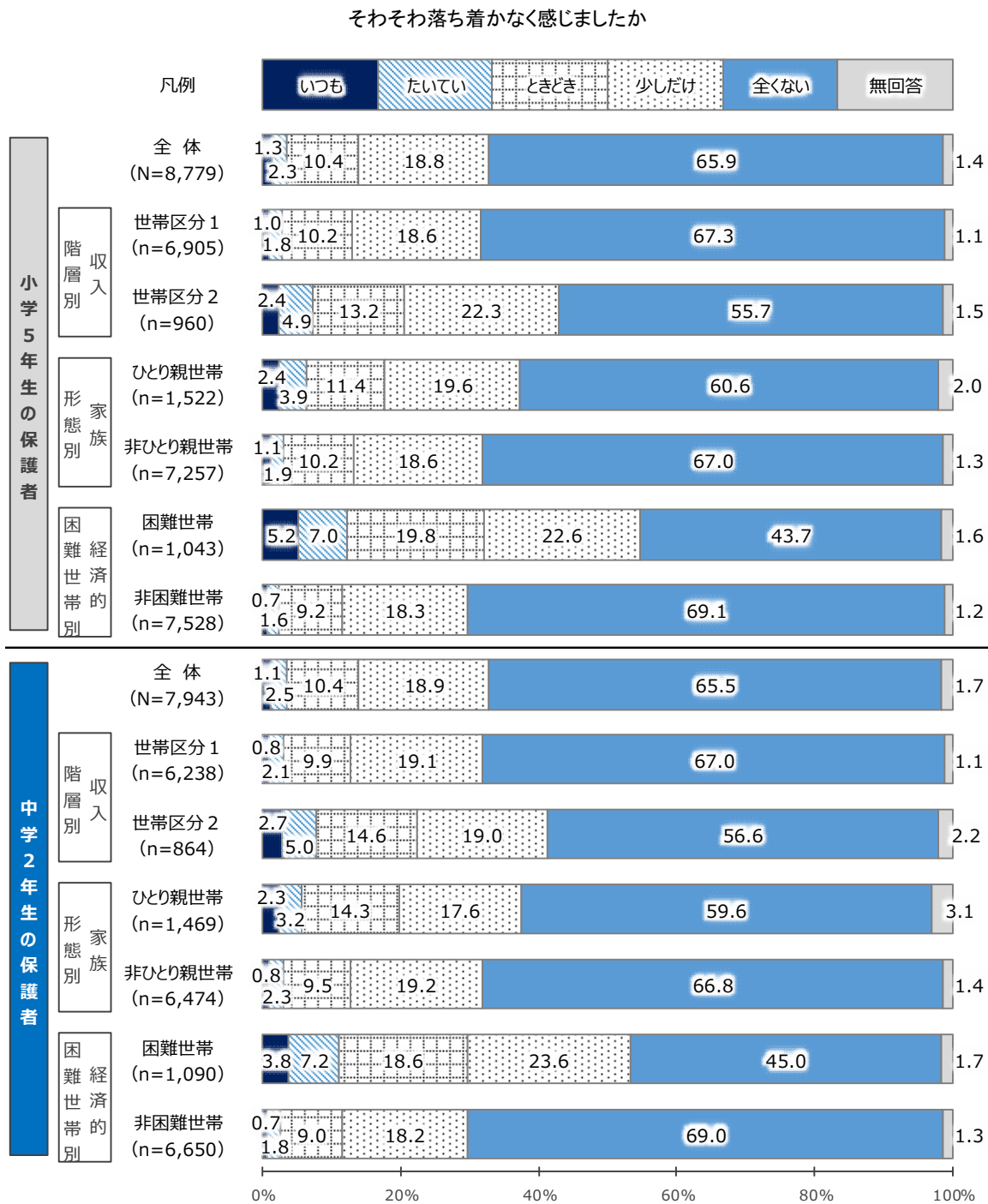
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は『ある』の割合が5割強、世帯区分2は『ある』の割合が4割と高くなっている。



③そろそろ落ち着かなく感じましたか

1か月の間、そろそろ落ち着かなく感じましたかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「全くない」が6割強を占め最も高いが、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた『ある』の割合は3割以上となっている。

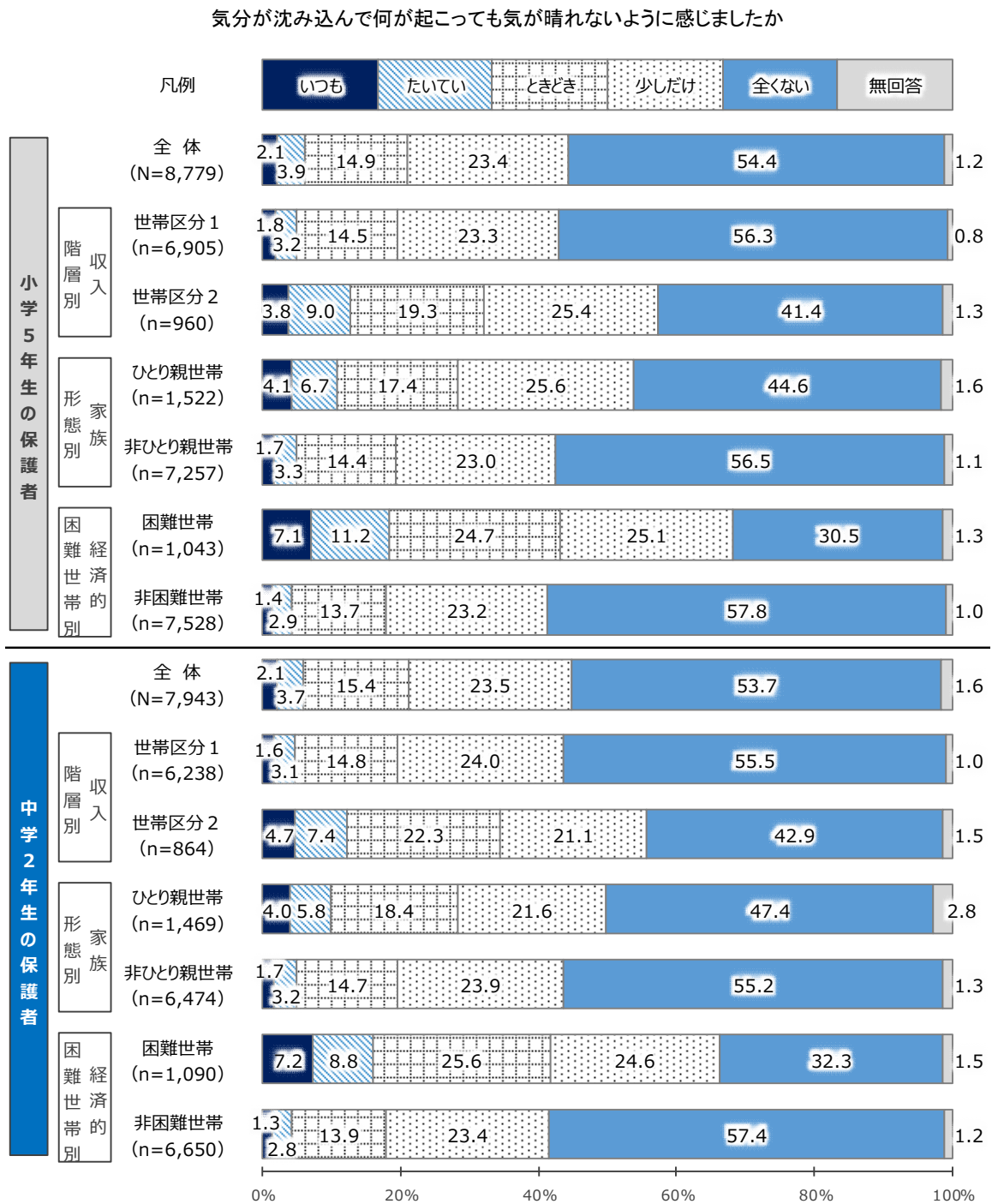
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は『ある』の割合が5割以上、世帯区分2は『ある』の割合が4割以上と高くなっている。



④ 気分が沈み込んで何が起っても気が晴れないように感じましたか

1か月の間、気分が沈み込んで何が起っても気が晴れないように感じましたかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「全くない」が半数以上を占め最も高いが、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた『ある』の割合は4割以上となっている。

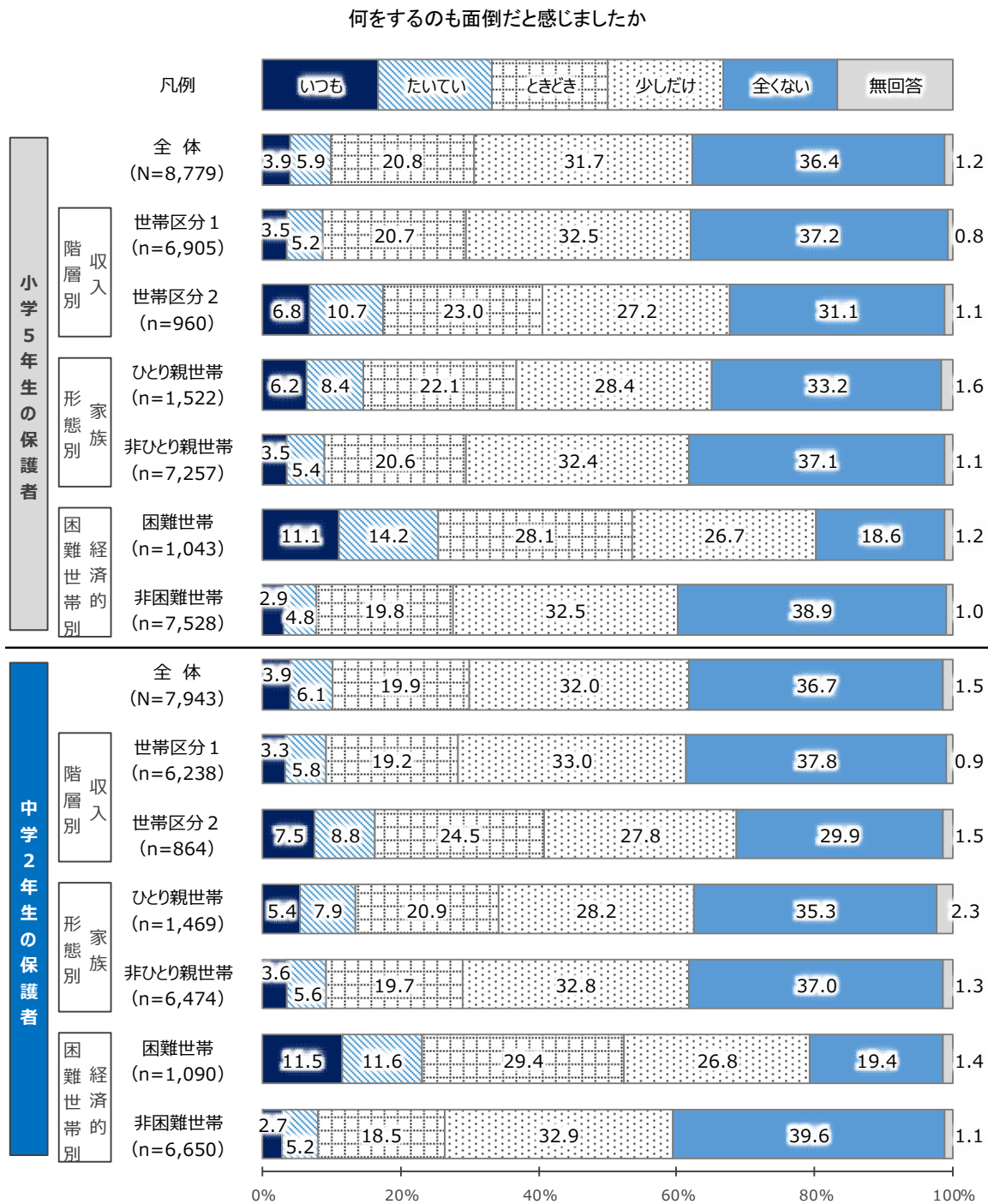
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は『ある』の割合が6割強、世帯区分2は『ある』の割合が5割強と高くなっている。



⑤何をするのも面倒だと感じましたか

1か月の間、何をするのも面倒だと感じましたかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「全くない」が3割強を占め最も高いが、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた『ある』の割合は6割以上となっている。

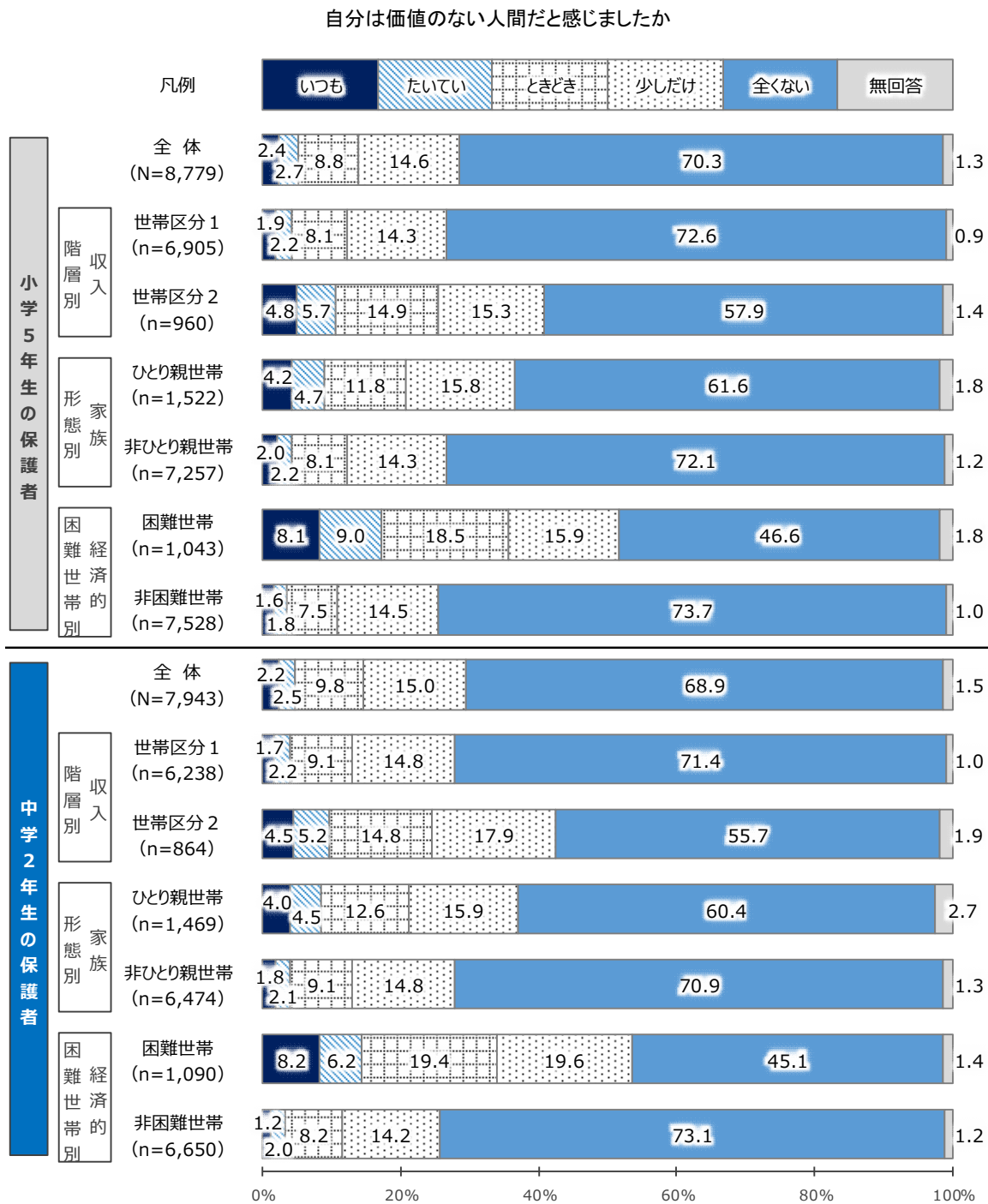
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は『ある』の割合が8割と高くなっている。



⑥自分は価値のない人間だと感じましたか

1か月の間、自分は価値のない人間だと感じましたかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「全くない」が6～7割を占め最も高いが、「いつも」、「たいてい」、「ときどき」、「少しだけ」を合わせた『ある』の割合は約3割となっている。

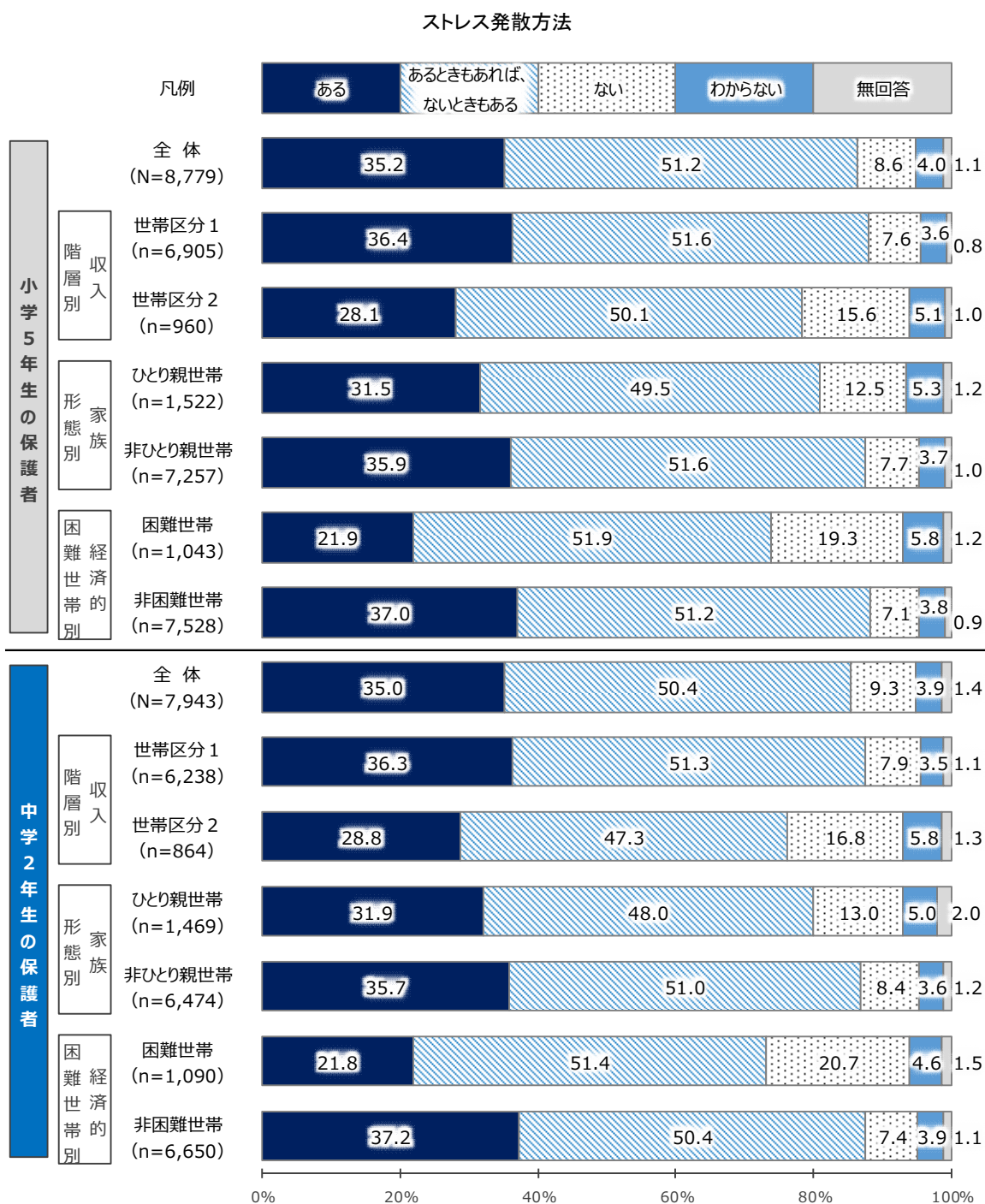
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は『ある』の割合が5割以上、世帯区分2は『ある』の割合が4割以上と高くなっている。



問 35 ストレスを発散できるものがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

ストレス発散方法については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「あるときもあれば、ないときもある」が半数を占め最も高く、次いで「ある」が3割強、「ない」が1割、「わからない」が1割未満となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「ない」の割合が高くなっている。

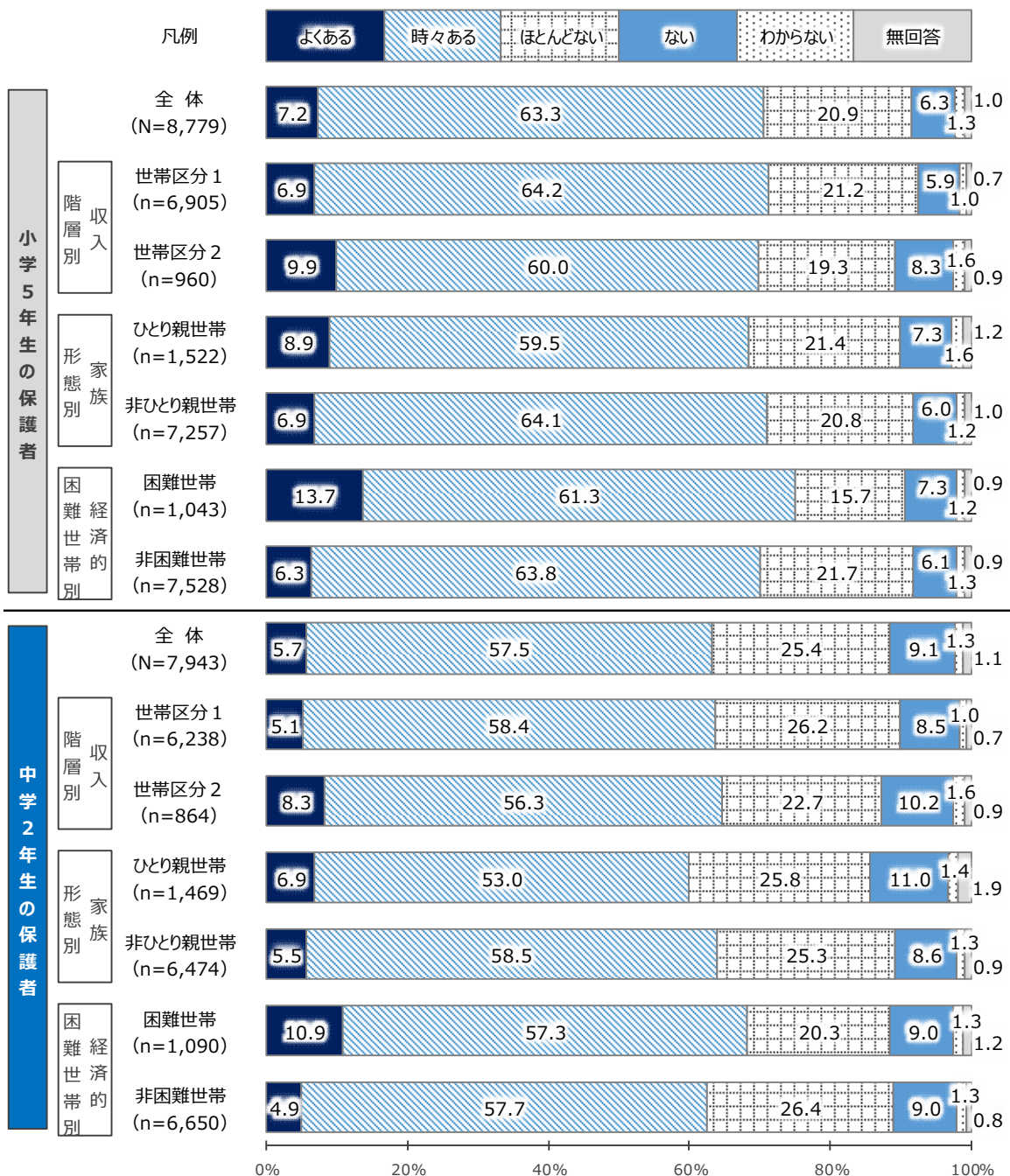


問 36 不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことがありますか。(あてはまる番号1つに○をつけてください)

不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことについては、小学生保護者は『ある』（「よくある」、「時々ある」の合計）が70.5%と、『ない』（「ほとんどない」、「ない」の合計）の27.2%を大きく上回っている。一方、中学生保護者は『ある』（「よくある」、「時々ある」の合計）が63.2%と、『ない』（「ほとんどない」、「ない」の合計）の34.5%を大きく上回っている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は非困難世帯より「よくある」の割合が高くなっている。

不安やイライラなどの感情を子どもに向けてしまうことの有無

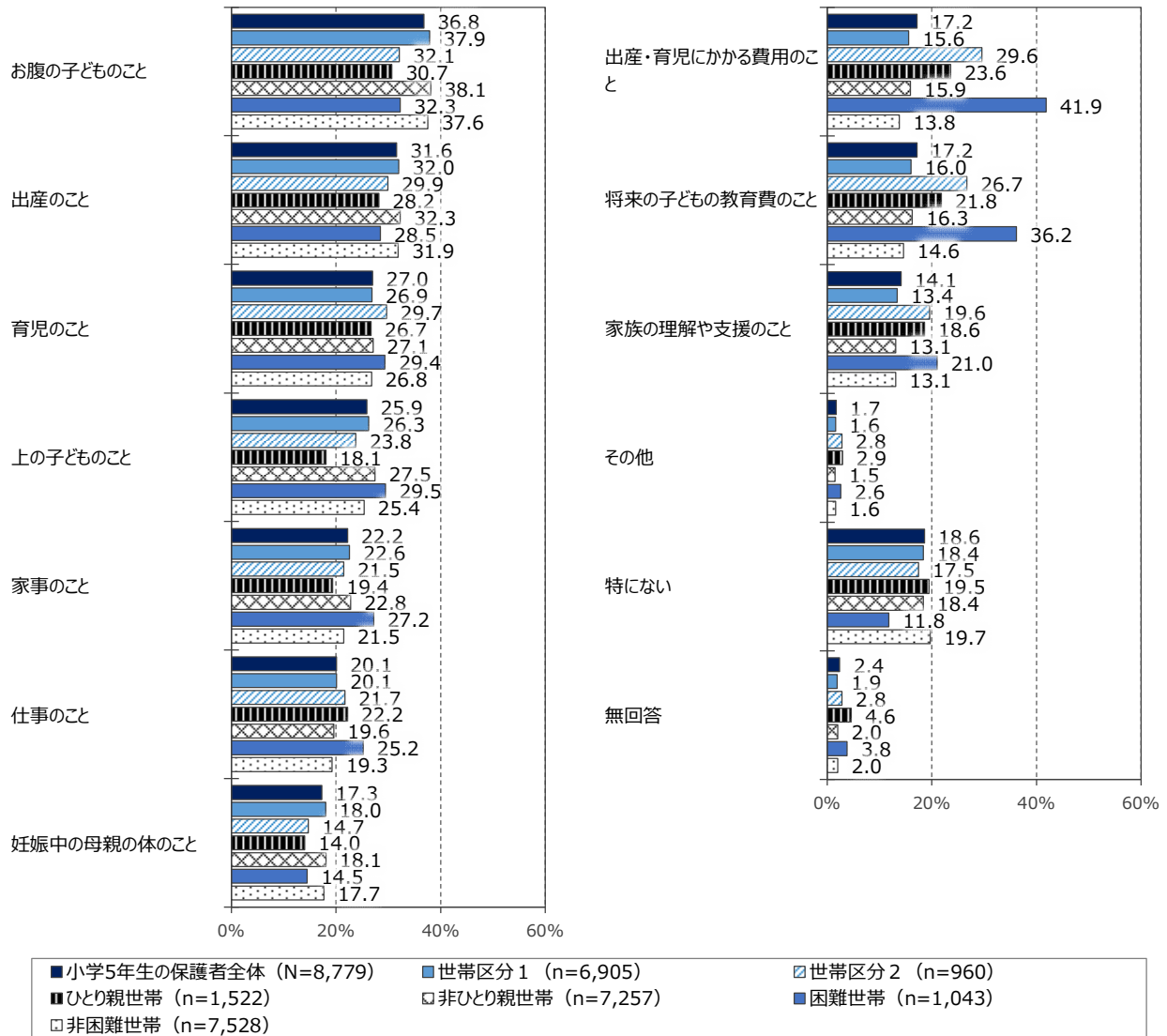


問 37 妊娠中に不安なことやストレスに感じたことは何ですか。あなたがお子さんのお母さん以外の場合には、お子さんが生まれる当時の様子を思い出してお答えください。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

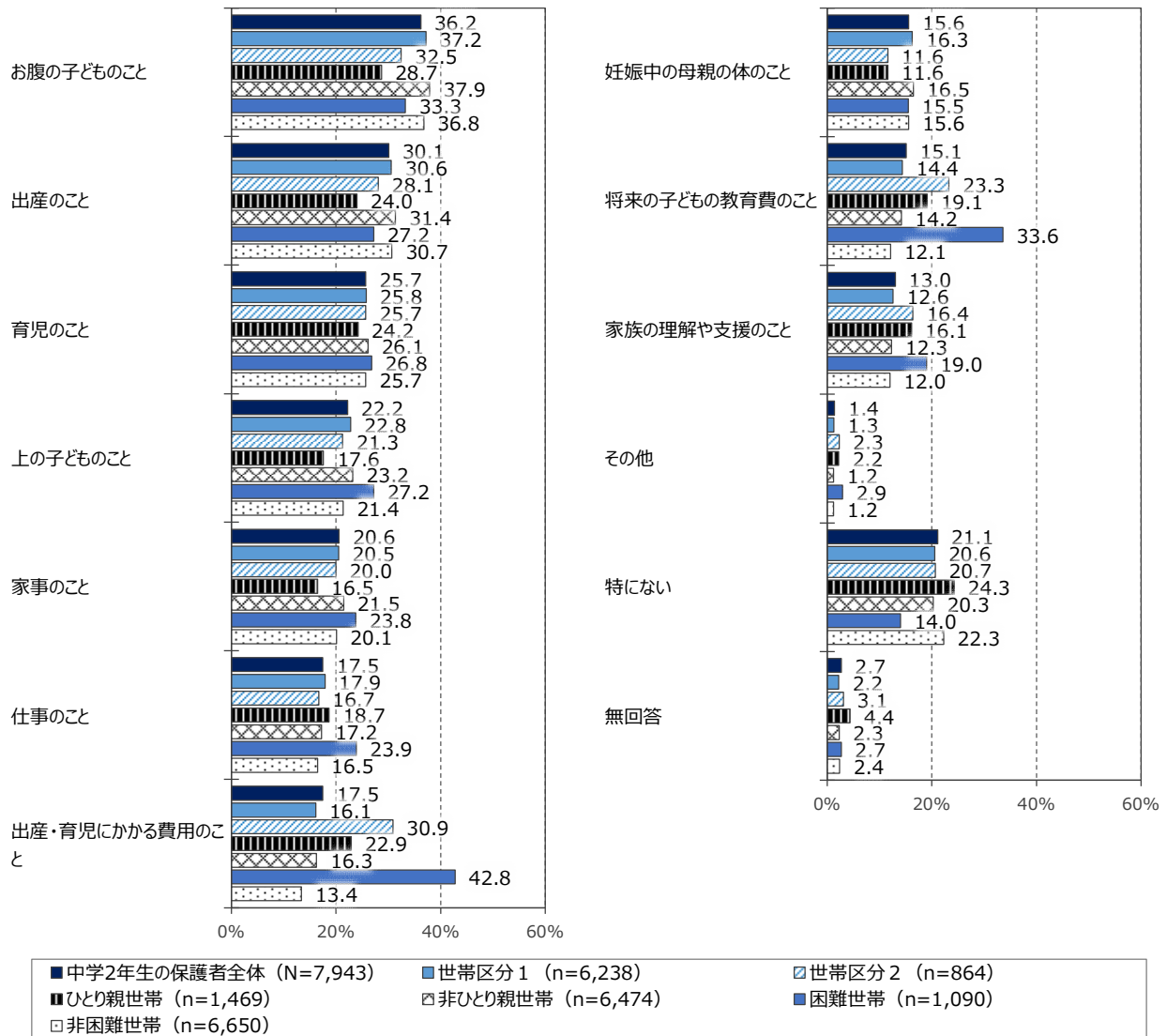
妊娠中に不安なことやストレスに感じたことについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「お腹の子どものこと」が3割強を占め最も高く、次いで「出産のこと」、「育児のこと」、「上の子どものこと」となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「出産・育児にかかる費用のこと」、「将来の子どもの教育費のこと」、「家族の理解や支援のこと」の割合が高く、中でも困難世帯は「出産・育児にかかる費用のこと」の割合が最も高くなっている。

妊娠中に不安なことやストレスに感じたこと(小学5年生の保護者)



妊娠中に不安なことやストレスに感じたこと(中学2年生の保護者)

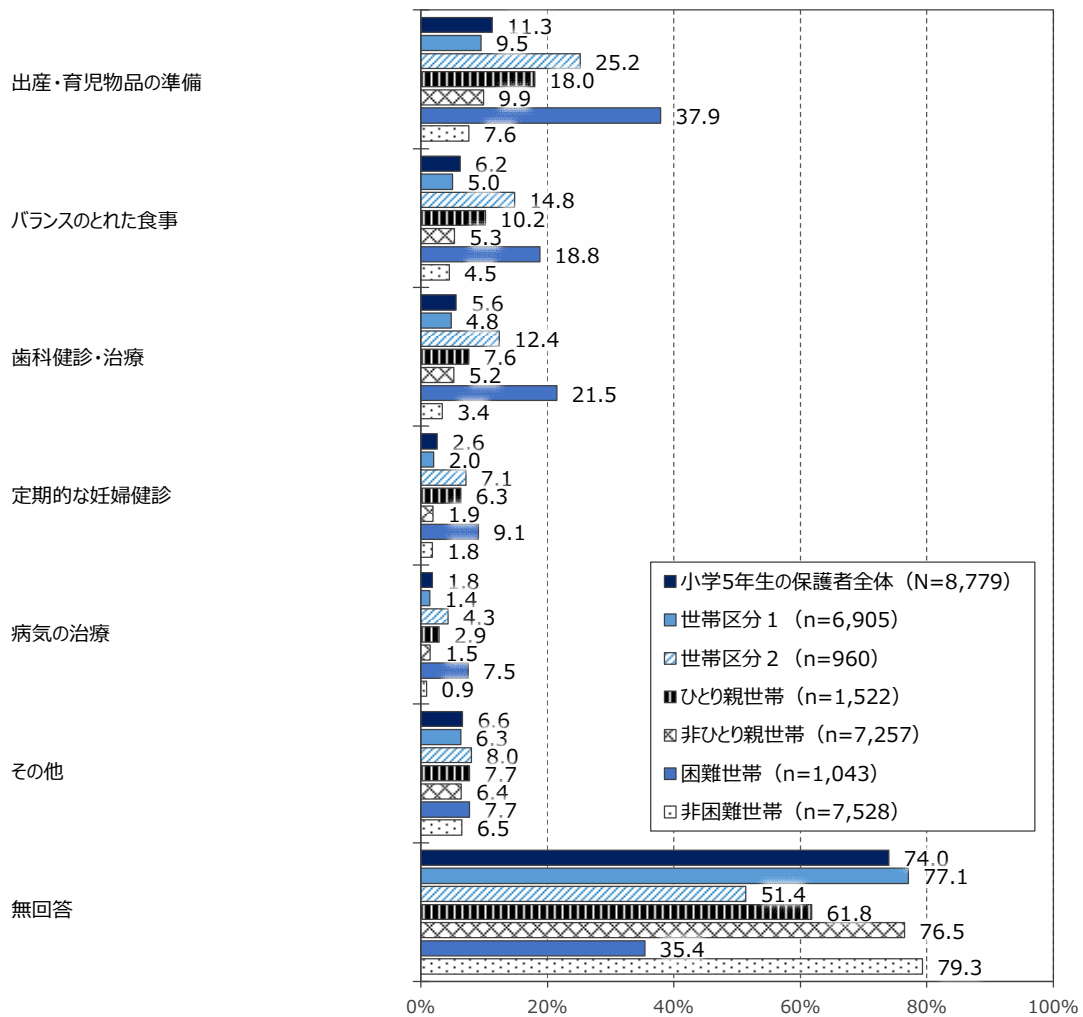


問 38 妊娠中に経済的理由により、制限しなければならなかったことがありますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

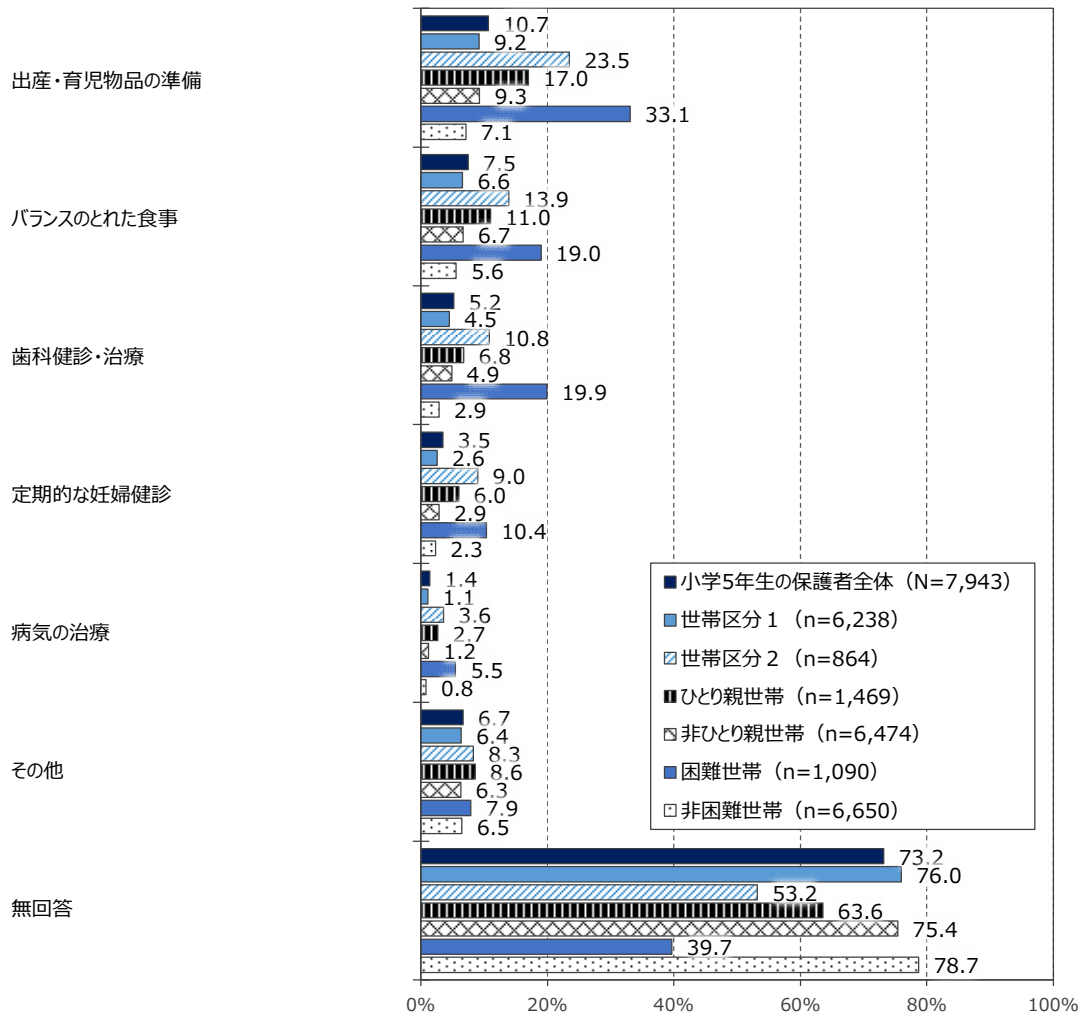
妊娠中に経済的理由により、制限しなければならなかったことについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「無回答」が7割以上を占めるが、「出産・育児物品の準備」が1割で最もたかくなっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「出産・育児物品の準備」、「バランスのとれた食事」、「歯科健診・治療」の割合が高くなっている。

妊娠中に経済的理由により、制限しなければならなかったこと(小学5年生の保護者)



妊娠中に経済的理由により、制限しなければならなかったこと(中学2年生の保護者)

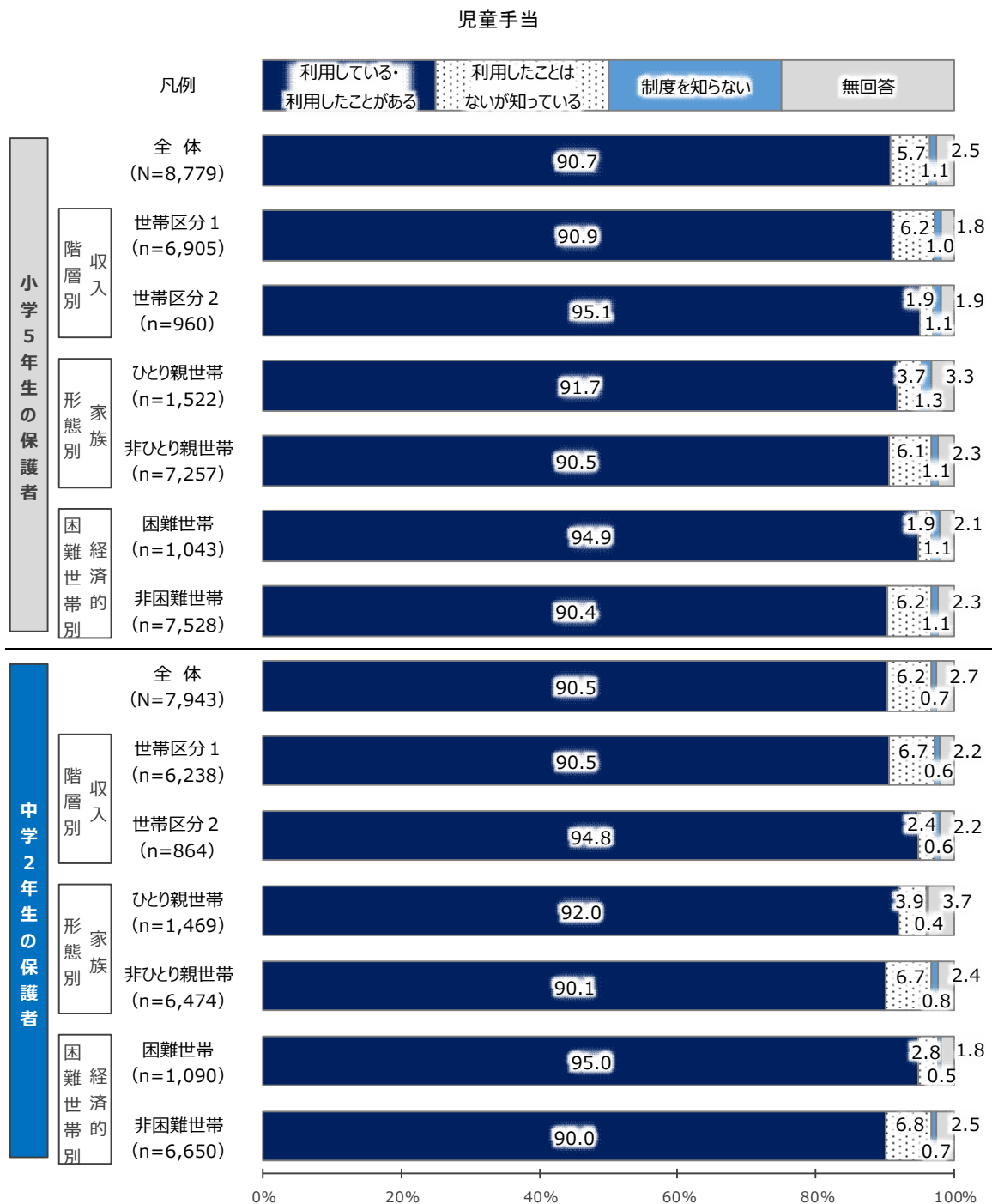


5. 支援策について

問 39 あなたの世帯では、次の手当や援助等を受けていますか。(①～⑭のそれぞれの項目について、あてはまる番号1つに○をつけてください)

①児童手当

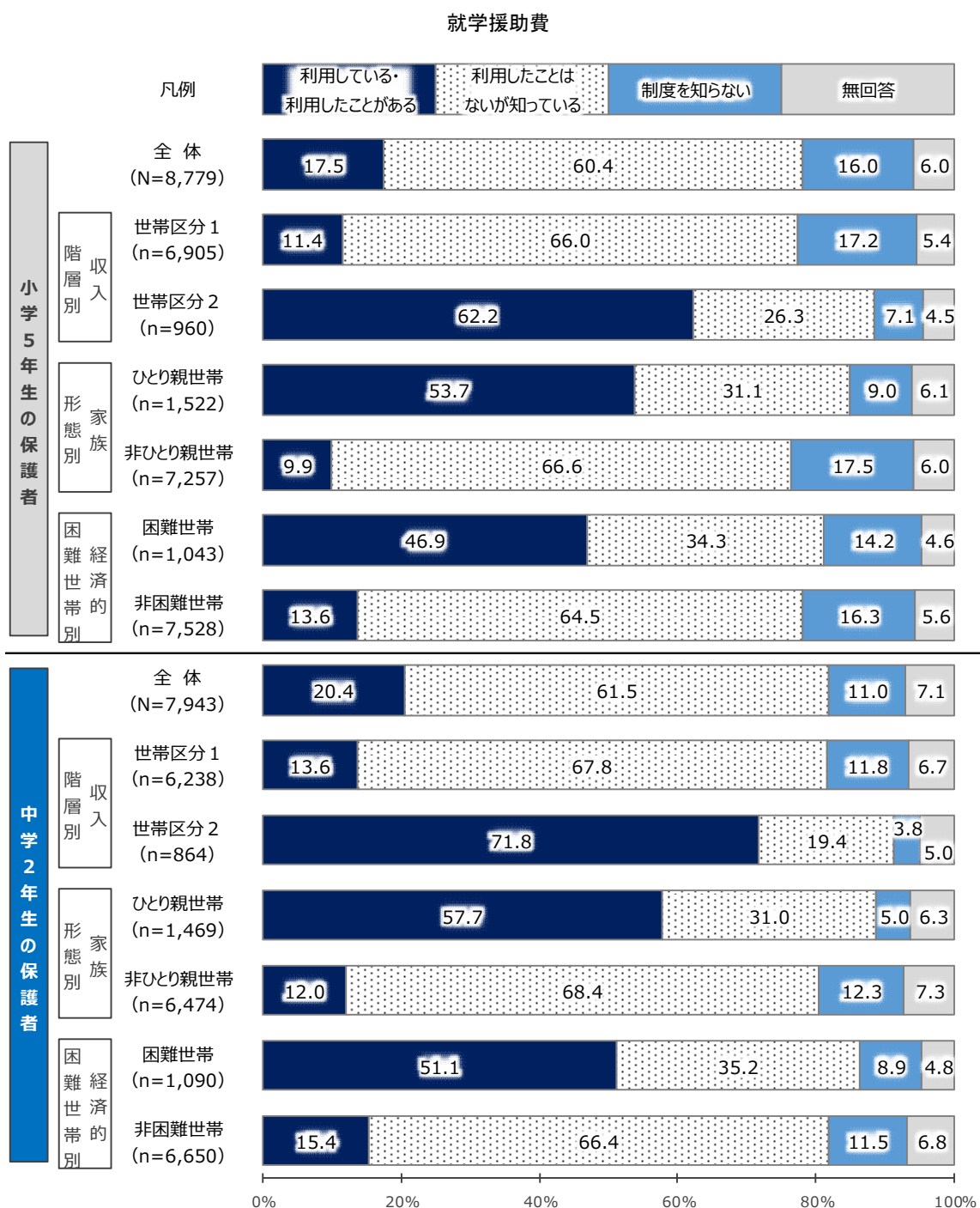
児童手当の受給状況については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「利用している・利用したことがある」が9割以上、「利用したことはないが知っている」を合わせて『知っている』が大半を占めている。なお、「制度を知らない」はほとんどみられない。



②就学援助費

就学援助費の受給状況については、小学生保護者は「利用している・利用したことがある」が17.5%、「利用したことはないが知っている」が60.4%と、これらを合わせて『知っている』が77.9%を占めている。なお、「制度を知らない」は16.0%となっている。一方、中学生保護者は「利用している・利用したことがある」が20.4%、「利用したことはないが知っている」が61.5%と、これらを合わせて『知っている』が81.9%を占めている。なお、「制度を知らない」は11.0%となっている。

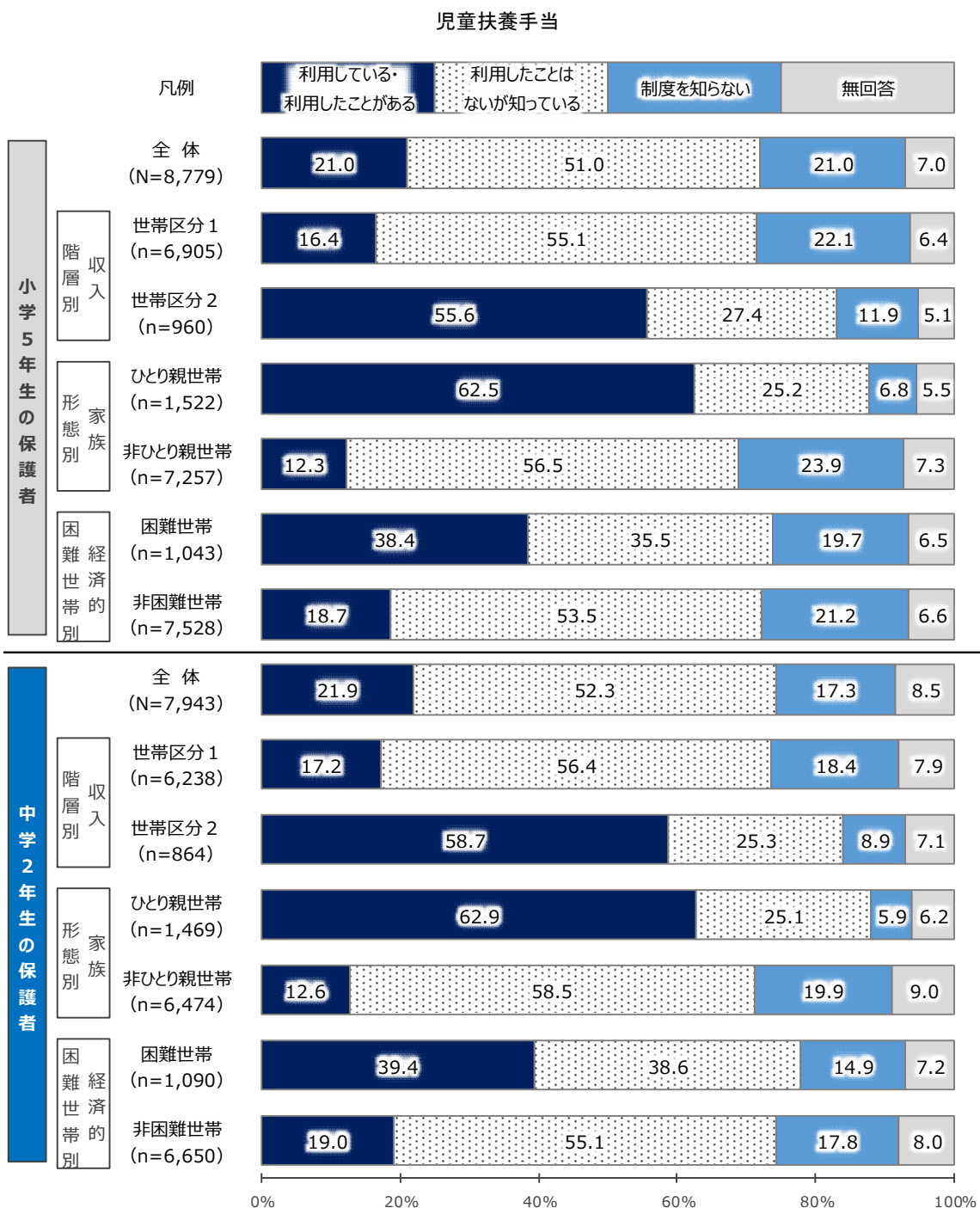
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯は「利用している・利用したことがある」の割合がかなり高くなっている。



③児童扶養手当

児童扶養手当の受給状況については、小学生保護者は「利用している・利用したことがある」が21.0%、「利用したことはないが知っている」が51.0%と、これらを合わせて『知っている』が72.0%を占めている。なお、「制度を知らない」は21.0%となっている。一方、中学生保護者は「利用している・利用したことがある」が21.9%、「利用したことはないが知っている」が52.3%と、これらを合わせて『知っている』が74.2%を占めている。なお、「制度を知らない」は17.3%となっている。

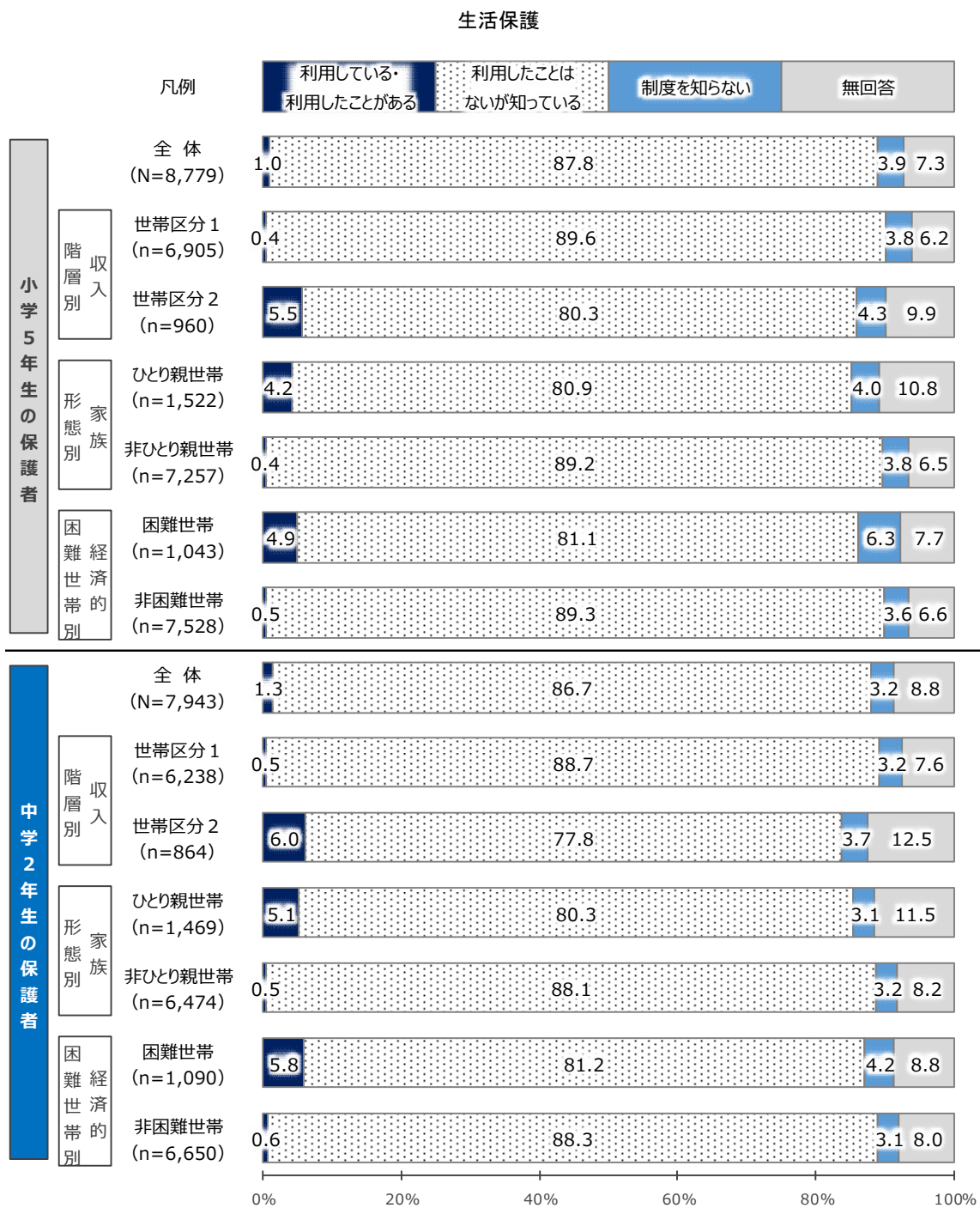
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯は「利用している・利用したことがある」の割合がかなり高くなっている。



④生活保護

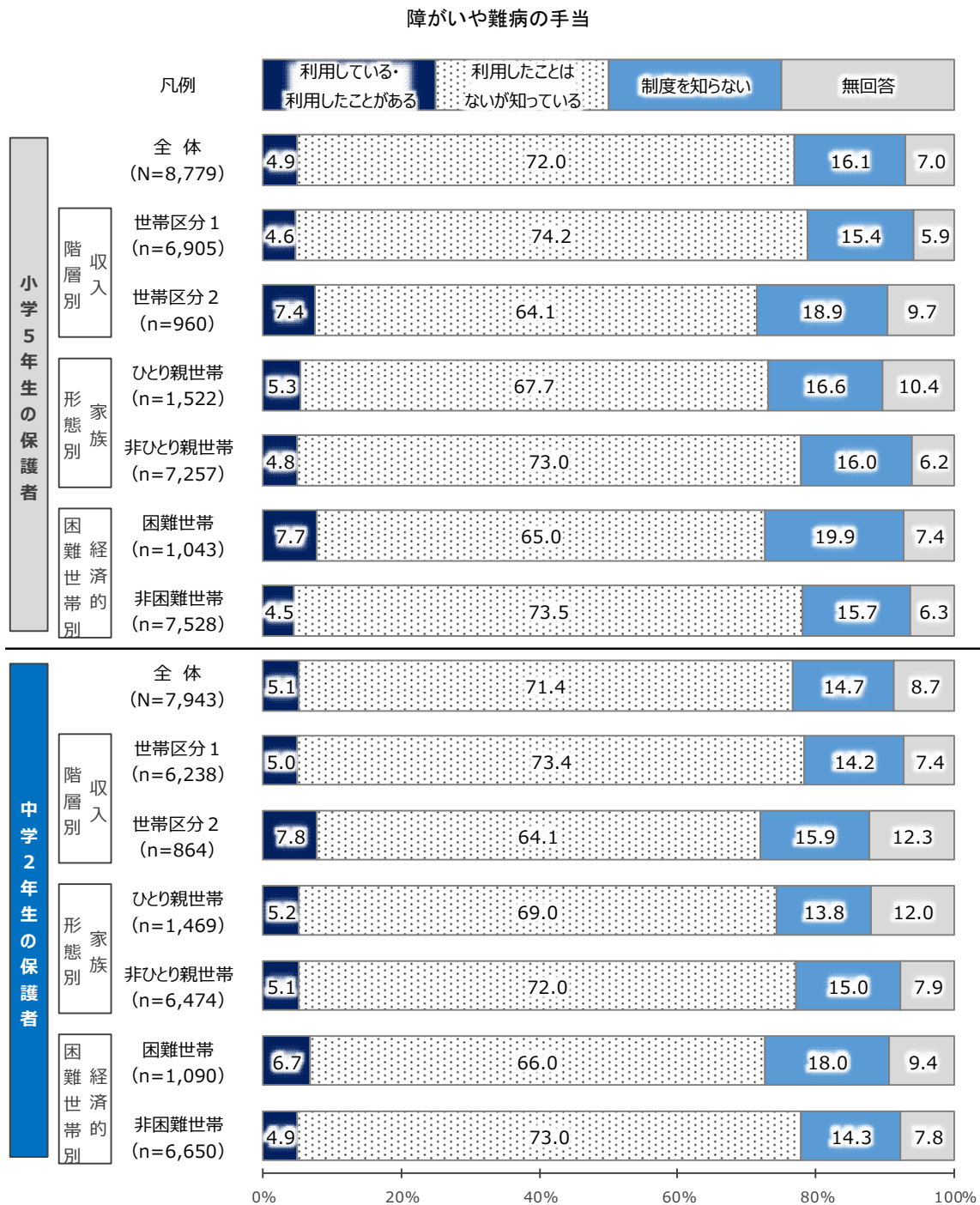
生活保護の受給状況については、小学生保護者及び中学生保護者ともに、「利用したことはないが知っている」が8割強を占め、「利用している・利用したことがある」はほとんどみられず、「制度を知らない」は1割にも満たない。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯は「利用している・利用したことがある」の割合が数パーセントみられる。



⑤障がいや難病の手当

障がいや難病の手当の受給状況については、小学生保護者及び中学生保護者ともに、「利用したことはないが知っている」が7割以上を占め、「利用している・利用したことがある」は数パーセント、「制度を知らない」は1割強となっている。

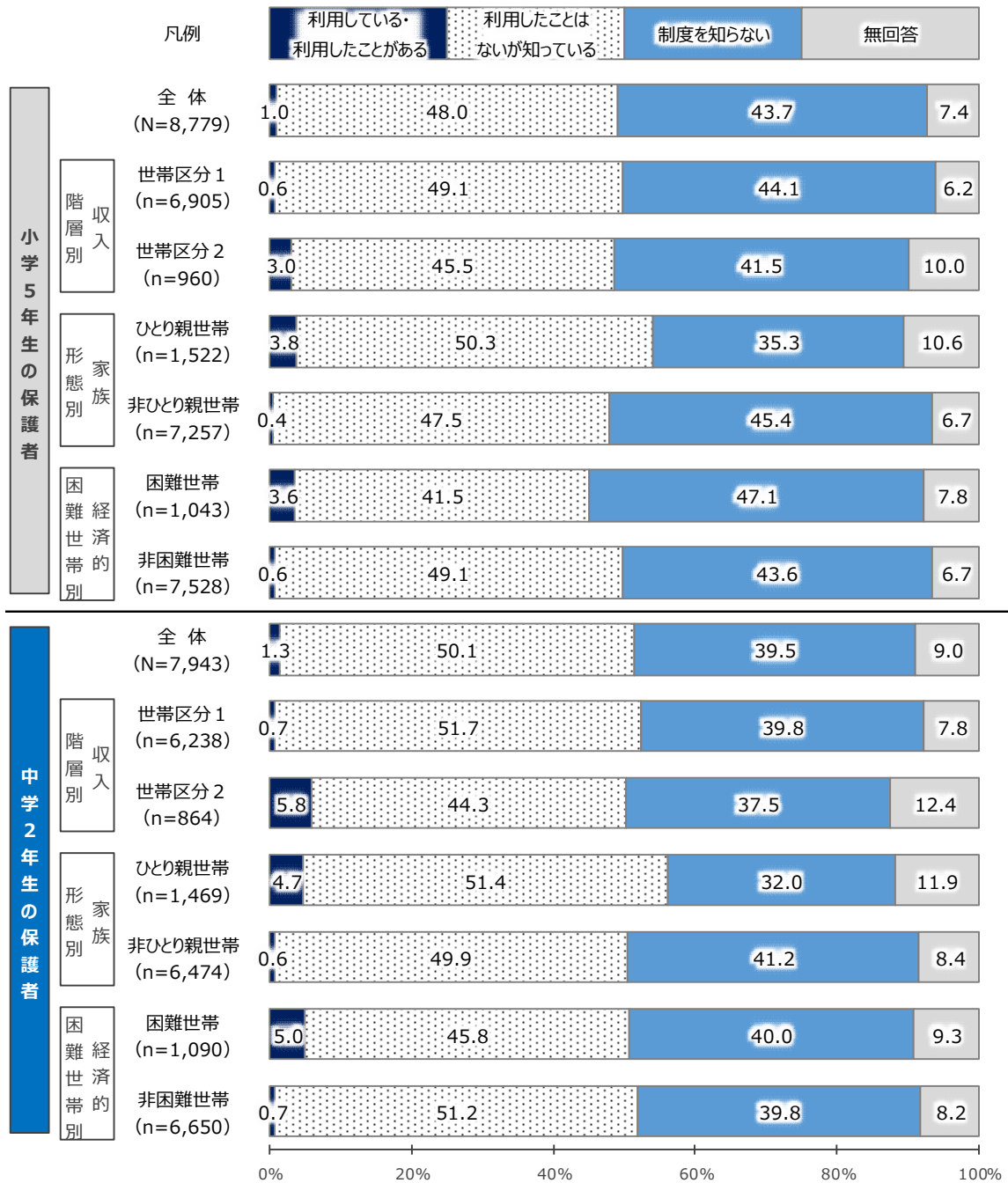


⑥行政・社会福祉協議会からの貸付（母子父子寡婦福祉資金、生活福祉資金等）

行政・社会福祉協議会からの貸付の受給状況については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「利用したことはないが知っている」が約半数、「制度を知らない」が約4割を占め、「利用している・利用したことがある」はほとんどみられない。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯は「利用している・利用したことがある」の割合が数パーセントみられる。

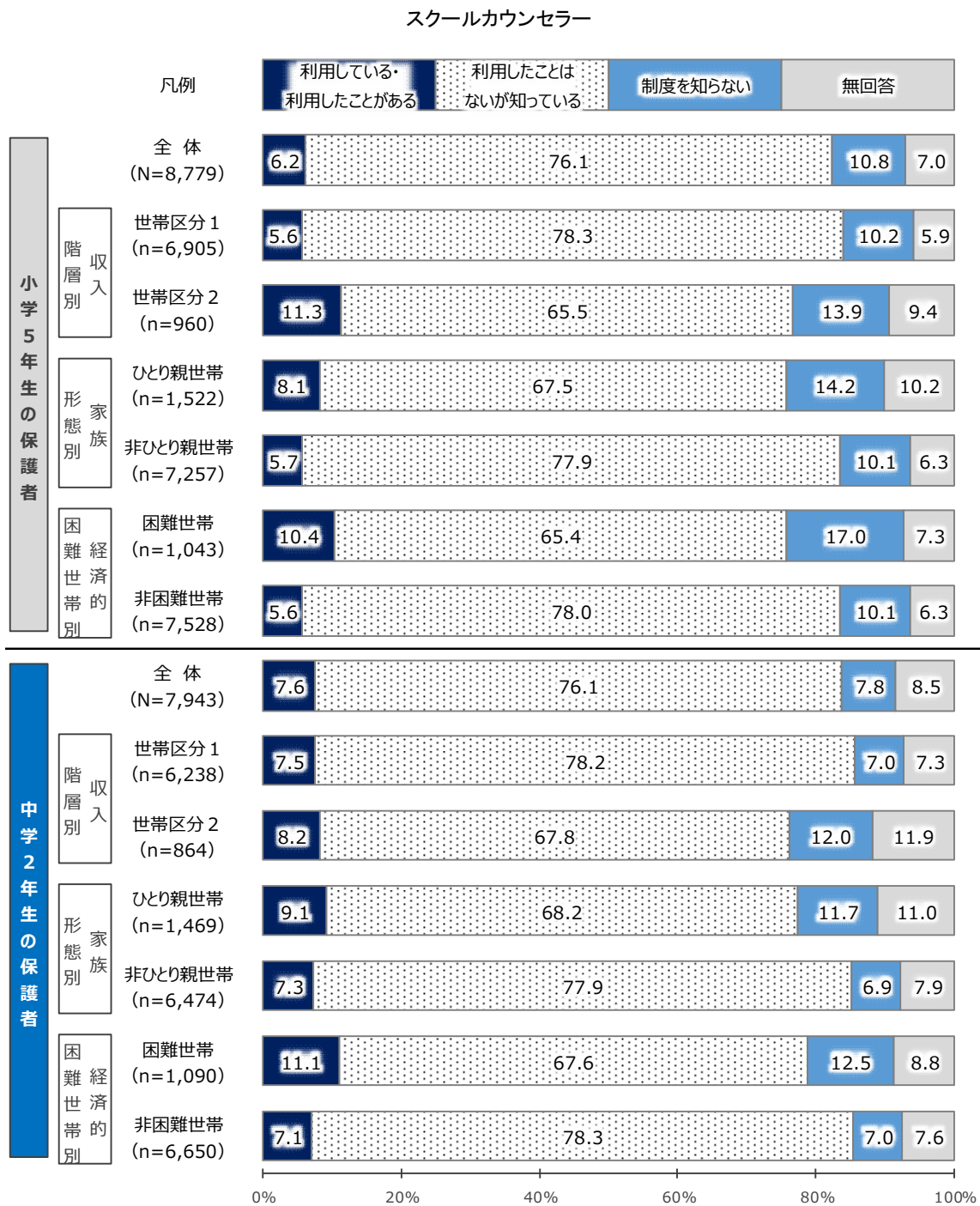
行政・社会福祉協議会からの貸付（母子父子寡婦福祉資金、生活福祉資金等）



⑦スクールカウンセラー

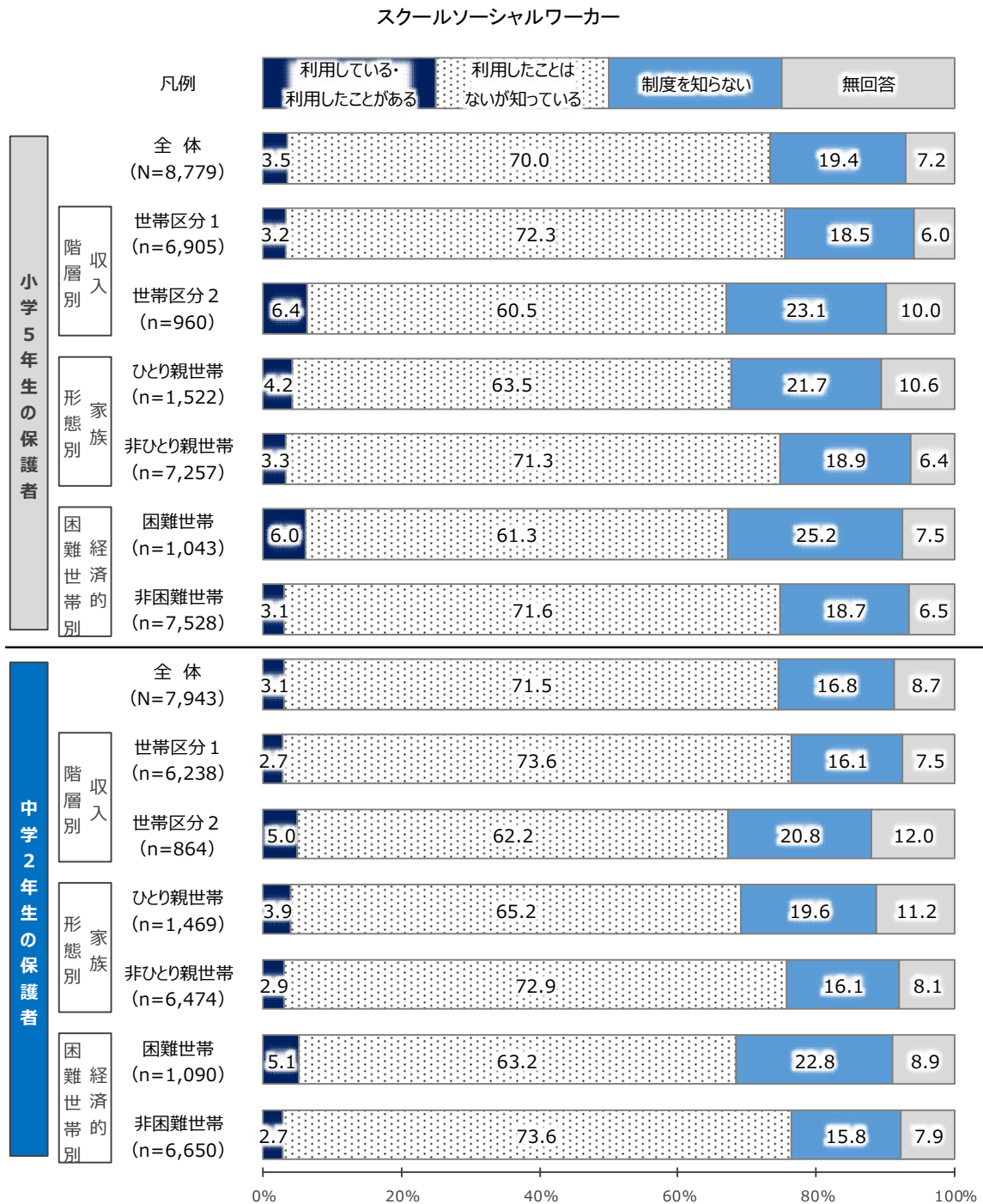
スクールカウンセラーを受けているかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに、「利用したことはないが知っている」が7割強を占め、「利用している・利用したことがある」は1割未満、「制度を知らない」は約1割となっている。

また、小学生保護者の世帯区分2は世帯区分1より、困難世帯は非困難世帯より「利用している・利用したことがある」の割合がやや高くなっている



⑧スクールソーシャルワーカー

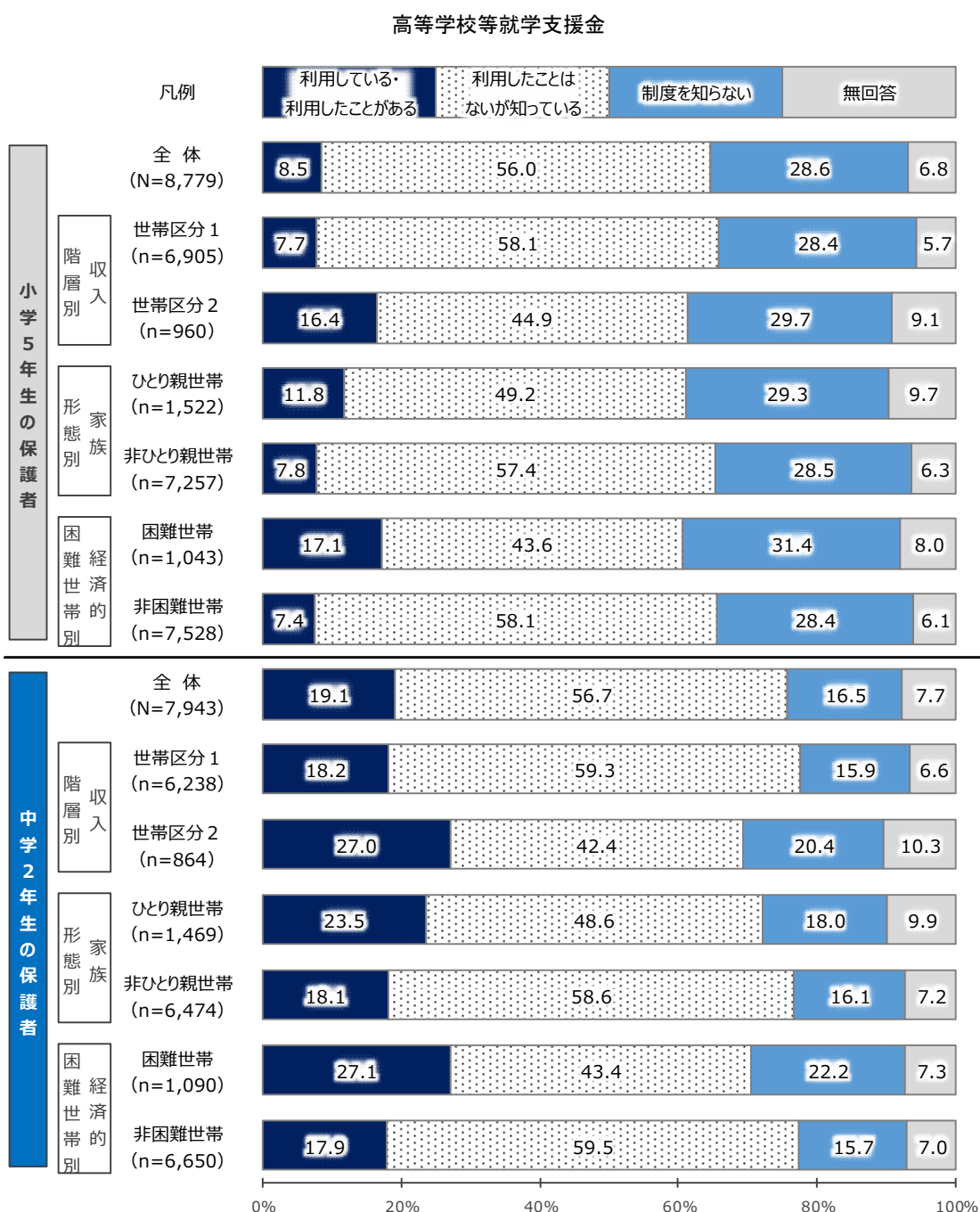
スクールソーシャルワーカーを受けているかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに、「利用したことはないが知っている」が7割を占め、「利用している・利用したことがある」は数パーセント、「制度を知らない」は1～2割となっている。



⑨高等学校等就学支援金

高等学校等就学支援金の受給状況については、小学生保護者は「利用している・利用したことがある」が8.5%、「利用したことはないが知っている」が56.0%と、これらを合わせて『知っている』が64.5%を占めている。なお、「制度を知らない」は28.6%となっている。一方、中学生保護者は「利用している・利用したことがある」が19.1%、「利用したことはないが知っている」が56.7%と、これらを合わせて『知っている』が75.8%を占めている。なお、「制度を知らない」は16.5%となっている。

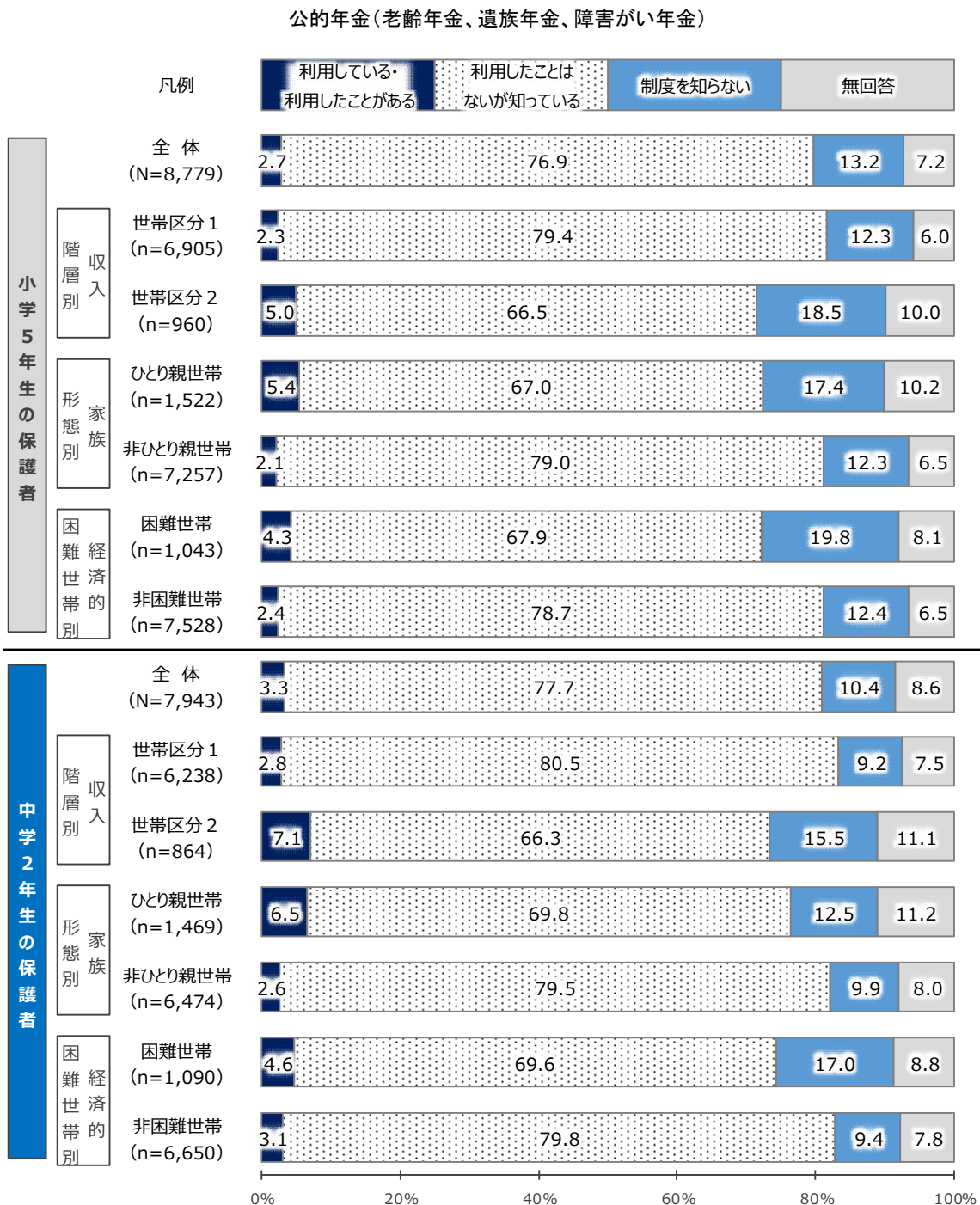
また、「利用している・利用したことがある」の割合は、小学生保護者の世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯が1割以上、中学生保護者の世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯が2割以上と高くなっている。



⑩公的年金（老齢年金、遺族年金、障害がい年金）

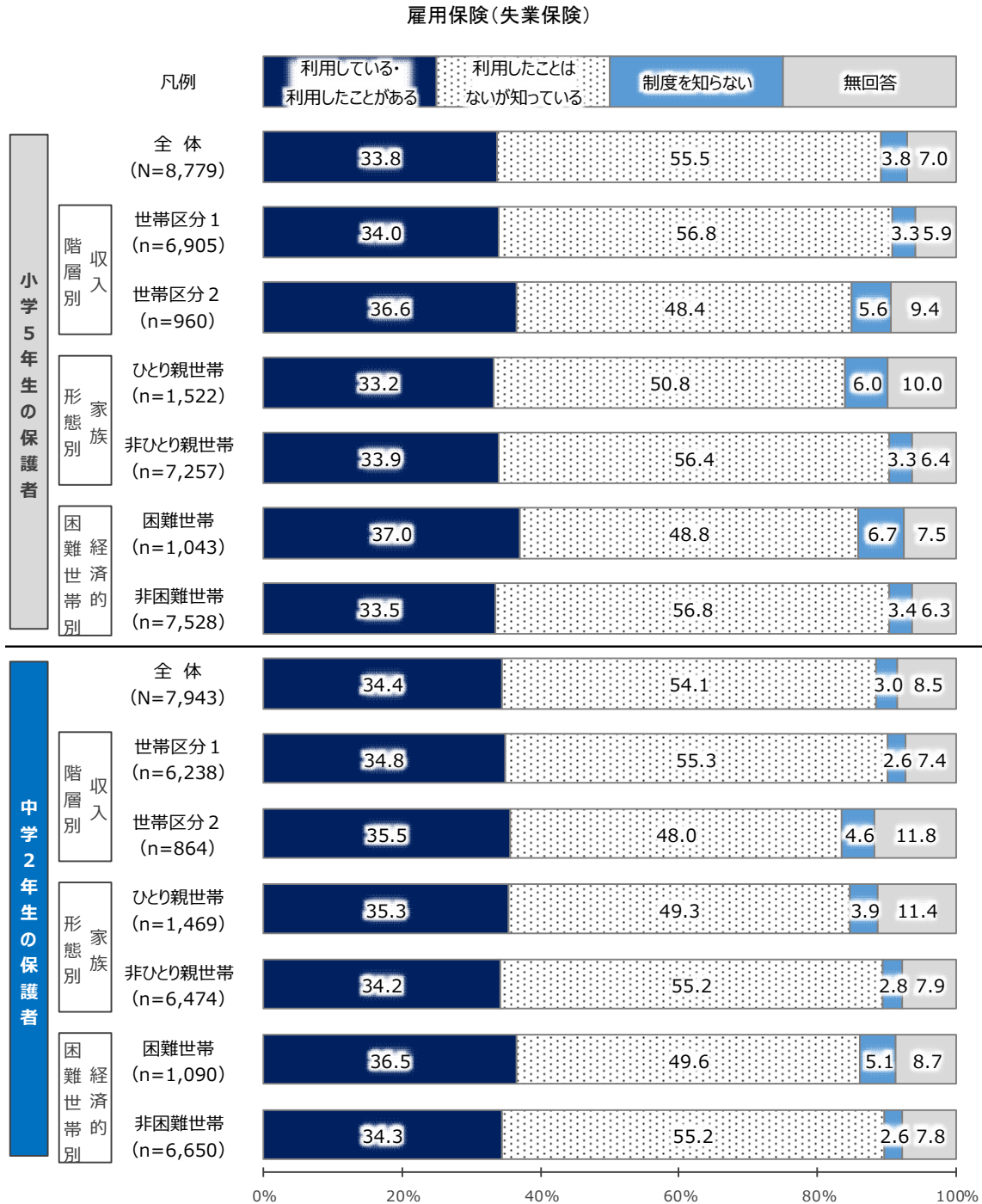
公的年金の受給状況については、小学生保護者は「利用している・利用したことがある」が2.7%、「利用したことはないが知っている」が76.9%と、これらを合わせて『知っている』が79.6%を占めている。なお、「制度を知らない」は13.2%となっている。一方、中学生保護者は「利用している・利用したことがある」が3.3%、「利用したことはないが知っている」が77.7%と、これらを合わせて『知っている』が81.0%を占めている。なお、「制度を知らない」は10.4%となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯は「利用している・利用したことがある」の割合が数パーセントみられる。



⑪雇用保険（失業保険）

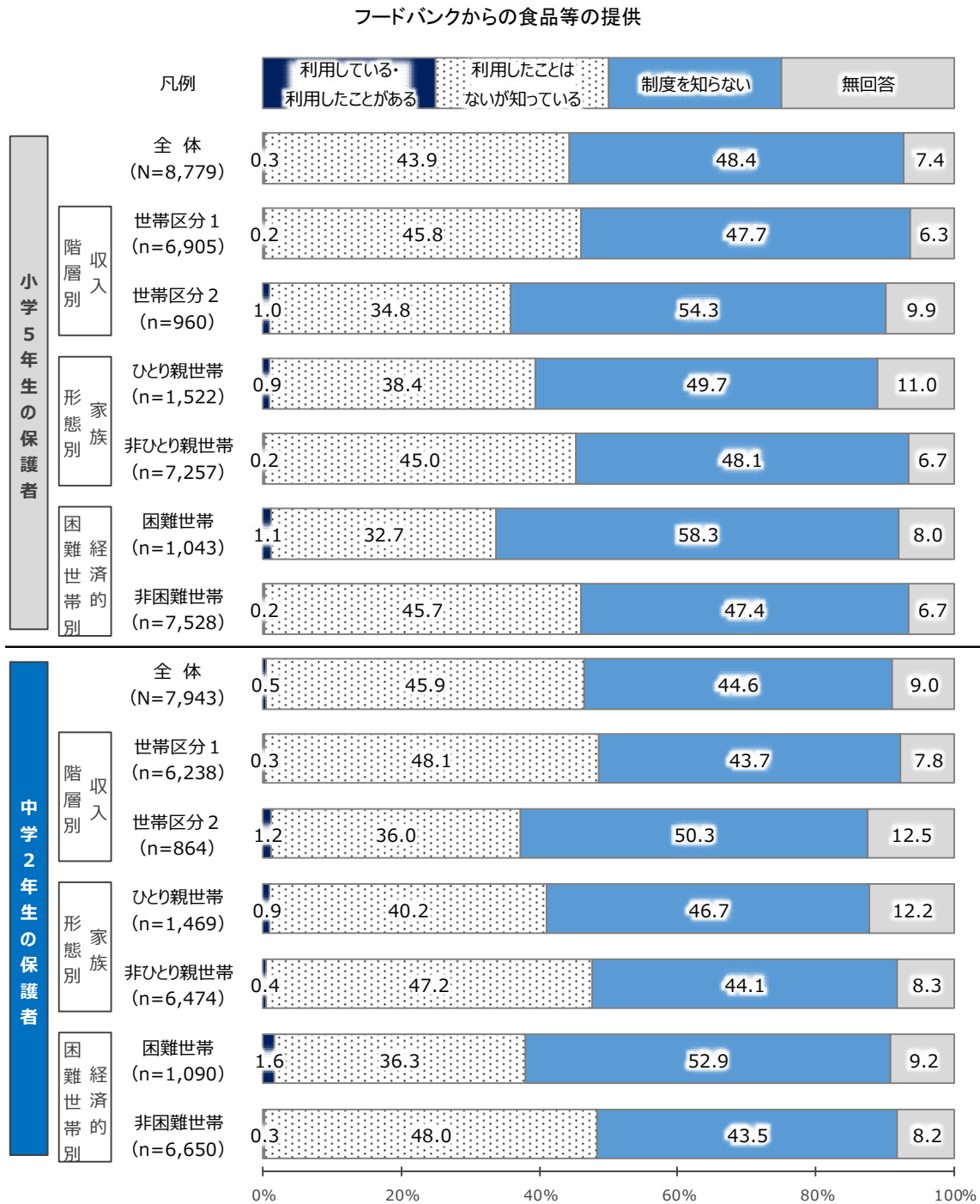
雇用保険の受給状況については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「利用している・利用したことがある」が3割以上、「利用したことはないが知っている」が5割以上と、これらを合わせて『知っている』が約9割を占めている。なお、「制度を知らない」は数パーセントとなっている。



⑫フードバンクからの食品等の提供

フードバンクからの食品等の提供を受けているかについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「利用したことはないが知っている」、「制度を知らない」が各々4割以上を占め、「利用している・利用したことがある」はほとんどみられない。

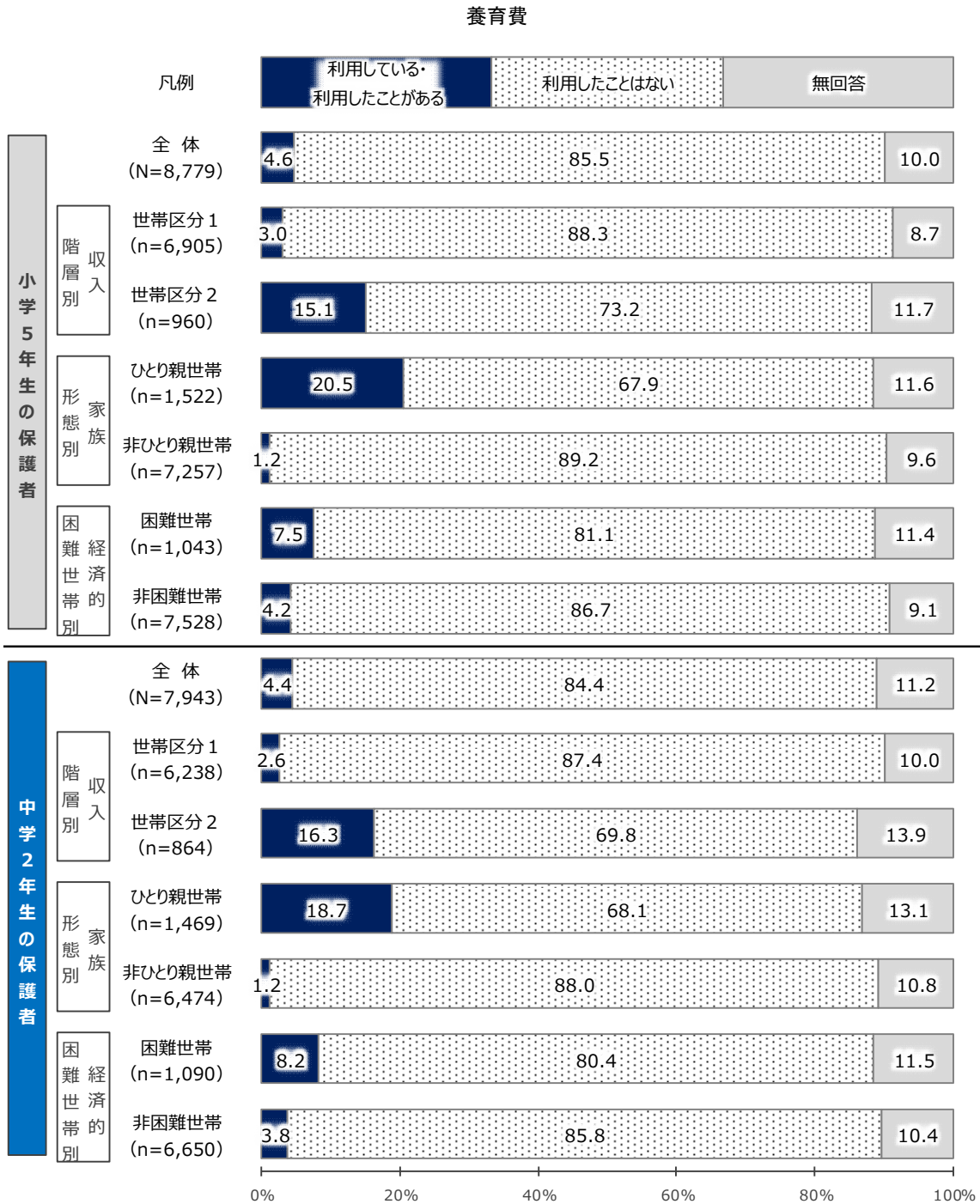
また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「制度を知らない」の割合が高くなっている。



⑬養育費

養育費については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「利用している・利用したことがある」は数パーセントにとどまり、「利用したことはない」が8割強を占めている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯は「利用している・利用したことがある」の割合が高くなっている。

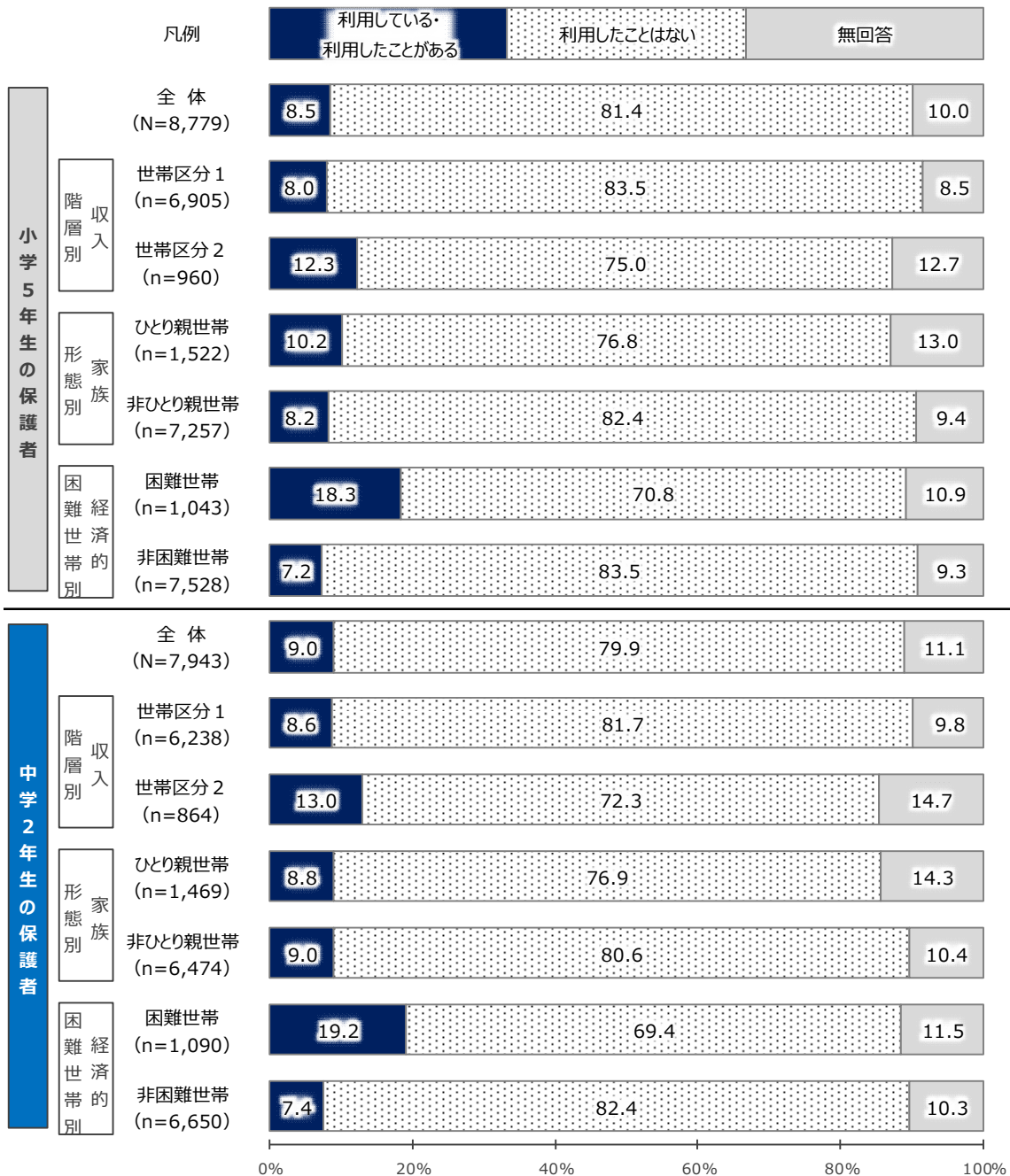


⑭親・親族からの仕送り

親・親族からの仕送りについては、小学生保護者及び中学生保護者ともに「利用している・利用したことがある」は約1割にとどまり、「利用したことはない」が8割を占めている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、困難世帯は「利用している・利用したことがある」の割合が高くなっている。

親・親族からの仕送り

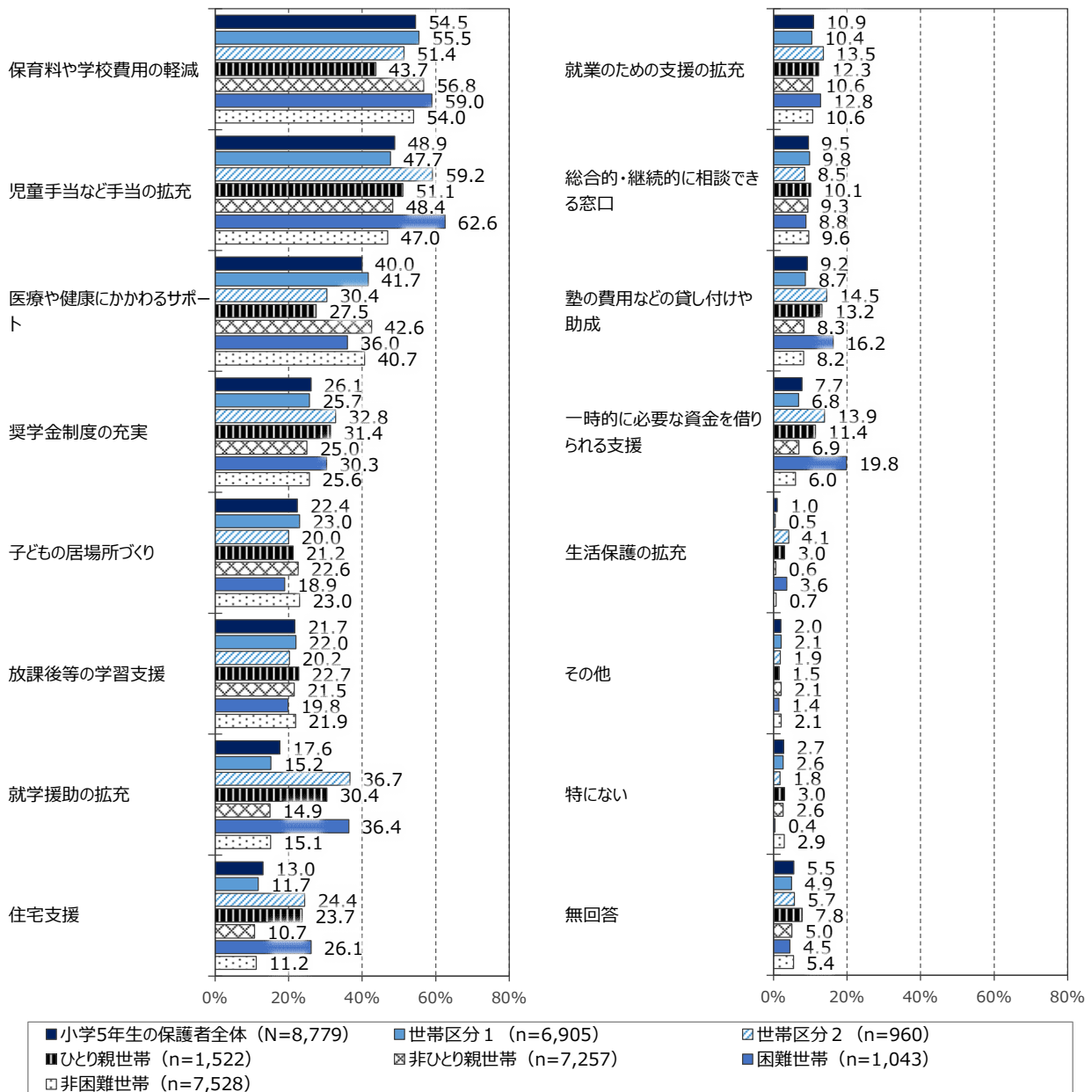


問 40 あなたが、子どもを育てていく上で必要と思う支援はどのようなことですか。(あてはまる番号3つまで○をつけてください)

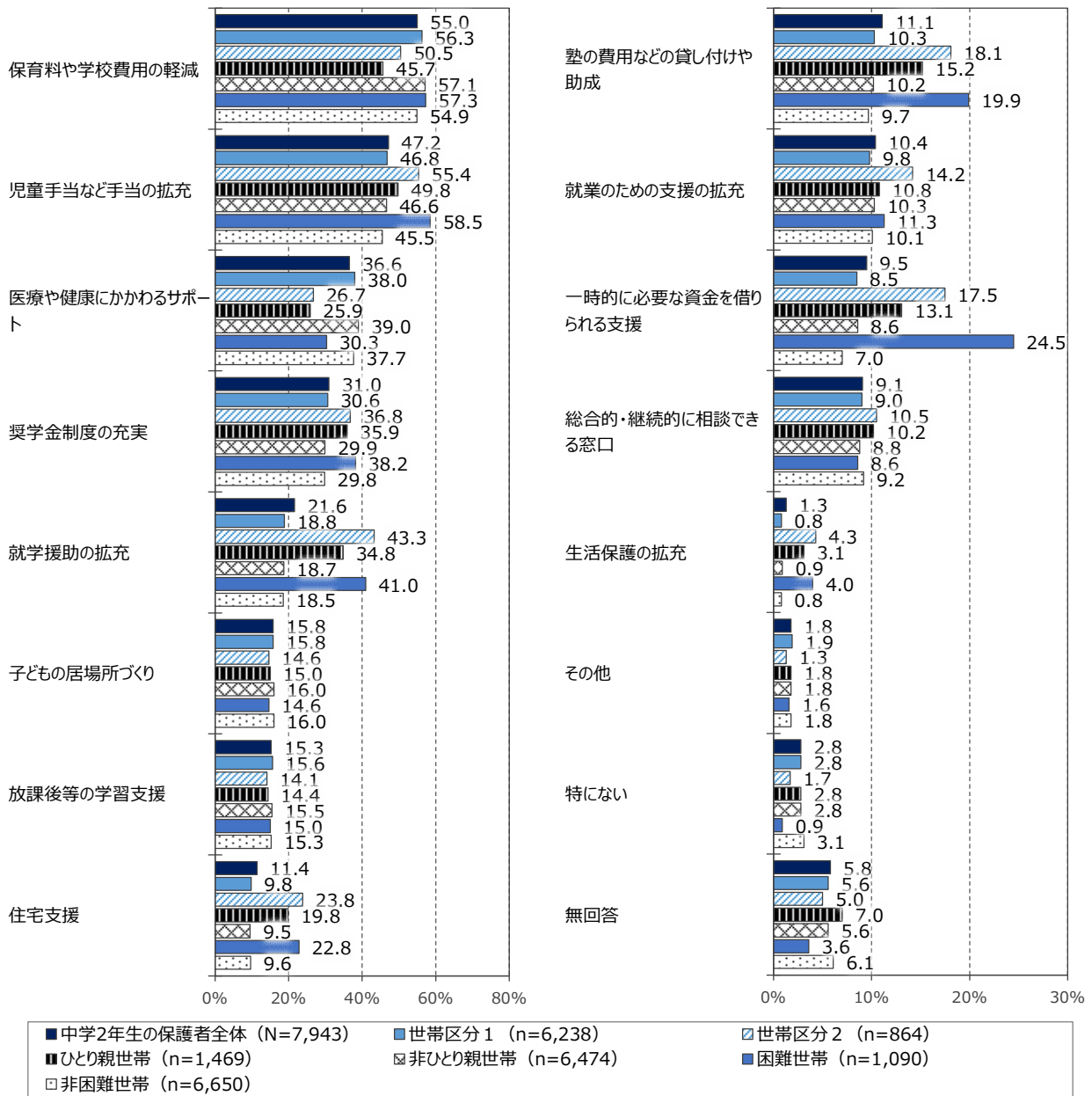
子どもを育てていく上で必要と思う支援については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「保育料や学校費用の軽減」が5割強を占め最も高く、次いで「児童手当など手当の拡充」、「医療や健康にかかわるサポート」となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2、ひとり親世帯、困難世帯は「児童手当など手当の拡充」の割合が最も高くなっている。同様に、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「児童手当など手当の拡充」、「奨学金制度の充実」、「就学援助の拡充」、「住宅支援」、「塾の費用などの貸し付けや助成」、「一時的に必要な資金を借りられる支援」の割合が高く、回答傾向が大きく異なっている。

必要と思う支援(小学5年生の保護者)



必要と思う支援(中学2年生の保護者)

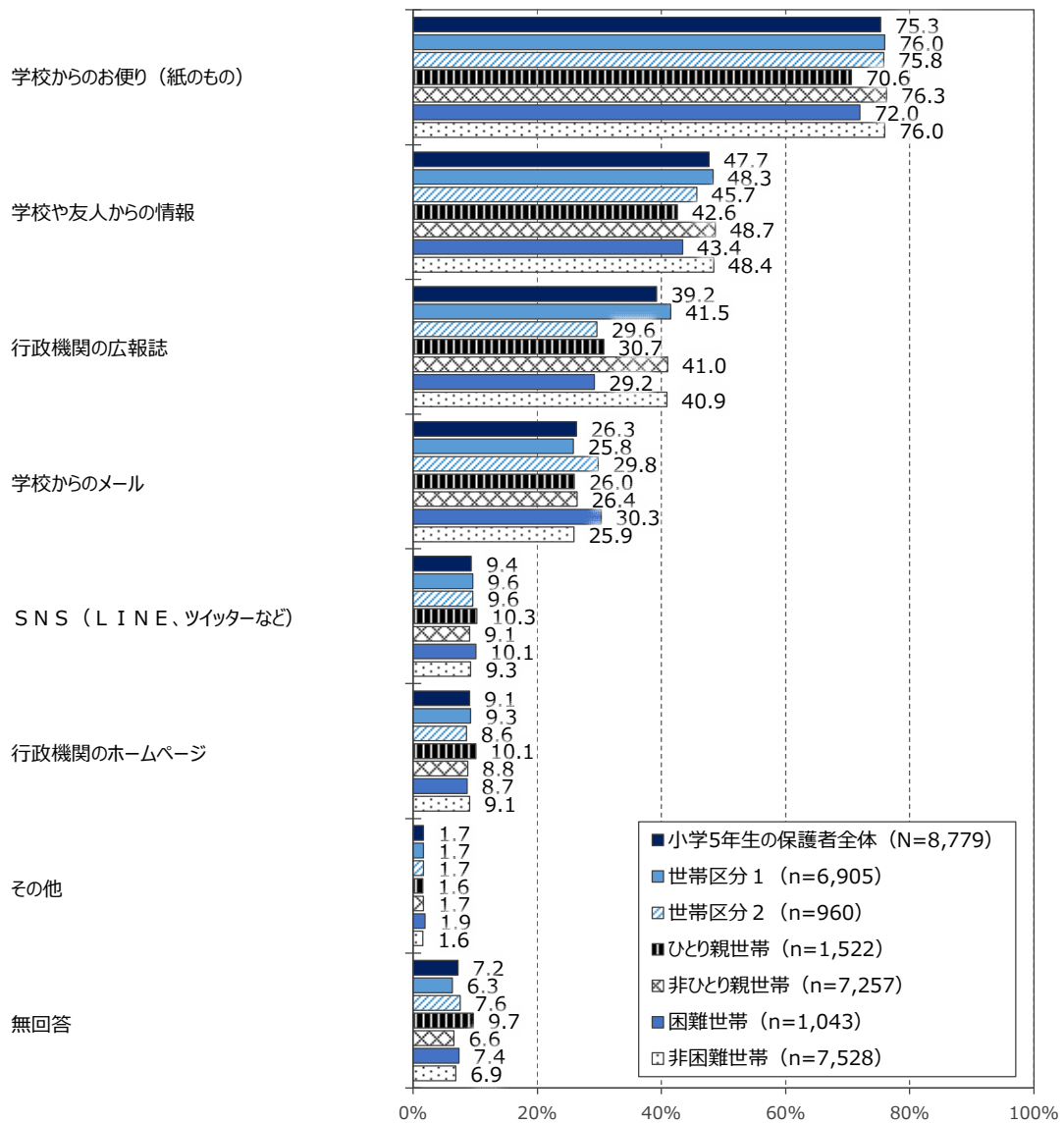


問 41 あなたは、子どもに関する施策等の情報をどのような方法で受け取っていますか。(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

子どもに関する施策等に関する情報の入手媒体については、小学生保護者及び中学生保護者ともに「学校からのお便り（紙のもの）」が7割強を占め最も高く、次いで「学校や友人からの情報」、「行政機関の広報誌」、「学校からのメール」となっている。

また、小学生保護者及び中学生保護者ともに、世帯区分2は世帯区分1より、ひとり親世帯は非ひとり親世帯より、困難世帯は非困難世帯より「行政機関の広報誌」の割合が低くなっている。

子どもに関する施策等の情報の入手媒体(小学5年生の保護者)



子どもに関する施策等の情報の入手媒体(中学2年生の保護者)

